

# 市民活動推進補助事業

ひとり一人の元気が、街全体を元気にし、  
街全体の元気がまた市民ひとり一人にまわってくる



## 令和7年度実施事業 実施報告会

令和8年

6月13日 土 13:00～

市役所本庁舎1F 市民ふれあいプラザ



### スタート支援

- ・茅ヶ崎CAD部
- ・まちの紡ぎ舎
- ・C3大作戦

### ステップアップ支援

- ・ちがさき子どもマルシェ  
実行委員会
- ・湘南1Leben
- ・にじカフェ

お問合せ：茅ヶ崎市くらし安心部  
市民自治推進課

0467-81-7126 (直通)

# 目次

令和7年度実施市民活動推進補助事業実施報告会 進行予定表	1
令和7年度実施市民活動推進補助事業について	2
市民活動推進基金にご寄附いただいた方々	5
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	7

## 令和7年度実施市民活動推進補助事業実績報告書

### ◆◆スタート支援◆◆

① 「3Dプリンターで未来のものづくりを体験しよう！」	
	茅ヶ崎CAD部 10
② 茅ヶ崎の大家、空き家所有者ヒアリング事業	
～地域活動に興味のある大家、空き家所有者のお困りごとと関係性づくり～	
	まちの紡ぎ舎 20
③ 茅ヶ崎 段ボールコンポスト チャレンジ大作戦	
	C3大作戦 36

### ◆◆ステップアップ支援◆◆

① ちがさきこどもマルシェ	
	ちがさきこどもマルシェ実行委員会 44
② 保護犬の現状と、犬と暮らす人間のより良いありかたを知らせよう	
	湘南1Leben 56
③ 人生を最後まで楽しむための「414カード死生観対話会」と 「大切なものを見直す終活お話会」	
	にじカフェ 64

# 令和7年度実施市民活動推進補助事業実施報告会 進行予定表

各団体が事業の実施状況を発表し、その後市民活動推進委員会が今後の事業展開や収支決算等についてコメントします。

<b>13:00</b>	<b>開 会</b>
--------------	------------

◆スタート支援の部 単位：円

発表順	団体名	事業名	回数	総事業費	補助金 申請額
①	茅ヶ崎CAD部	「3Dプリンターで未来のものづくりを体験しよう！」	1	79,448	100,000
②	まちの紡ぎ舎	茅ヶ崎の大家、空き家所有者ヒアリング事業 ～地域活動に興味のある大家、空き家所有者のお困りごとと関係性づくり～	1	119,850	100,000
③	C3大作戦	茅ヶ崎段ボールコンポスト チャレンジ大作戦	1	149,118	100,000
休憩					

◆ステップアップ支援の部 単位：円

	団体名	事業名	回数	総事業費	補助金 申請額
①	ちがさきこどもマルシェ 実行委員会	ちがさきこどもマルシェ	1	738,298	500,000
②	湘南1 Leben	保護犬の現状と、犬と暮らす人間のより良いありかたを知らせよう	2	431,021	416,000
②	にじカフェ	人生を最後まで楽しむための「414カード死生観対話会」と「大切なものを見直す終活お話し会」	1	432,956	358,000
休憩					

<b>16:30 見込み</b>	<b>閉 会</b>
----------------------	------------

## 令和7年度実施市民活動推進補助事業について

### 1 申請団体募集

広報ちがさき、市公式ホームページ等で申請団体を募集しました。

○募集期間 令和6年11月8日（金）～令和6年12月20日（金）

### 2 企画書作成相談会

○日 時 令和6年11月11日（月）～令和6年12月19日（木）までの間

事前予約制・個別実施

※期間中の月・水・木（11/20（水）・12/4（水）・12/18（水）を除く）

14時～、16時～、18時～のいずれかの時間帯

### 3 公開プレゼンテーション

スタート支援及びステップアップ支援について、申請団体によるプレゼンテーションと、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行いました。

○日時 令和7年3月16日（日）

13時～16時

○対象 スタート支援3団体、ステップアップ支援3団体

### 4 補助事業の選考

非公開の選考会議で市民活動推進委員会委員が各団体の事業内容を次の項目で評価しました。

（スタート支援申請事業については★印がある3項目のみを評価）

(1) 公益性★：事業の成果は、市民や地域の利益になる（つながる）ものか。また、市民や地域のニーズに適した事業であるか。

(2) 発展性★：補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。

(3) 費用の妥当性★：対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。

(4) 事業実現性：実行可能な方法・スケジュール・予算で事業計画が立案されているか。また、新たな視点や発想から提案されたものであるか。創意工夫がなされているか。

(5) 自立性：自己努力による資金確保に努めているか。

### 5 選考結果

選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果）は、市長に報告され、市長が予算の範囲内で各事業の採択及び不採択を決定しました。

スタート支援3団体、ステップアップ支援3団体での事業実施となりました。

## 6 事業実施後の評価について

### (1) 市民活動推進委員会の評価

市民活動推進委員会は、団体が市民活動推進補助事業として実施した事業の報告を受けて、当該事業に対して次のような観点から5段階評価を行うとともに、コメントを付します。

- 事業の実施状況（事業内容）について
- 事業の効果について
- 今後の事業展開や発展について

### (2) 段階評価

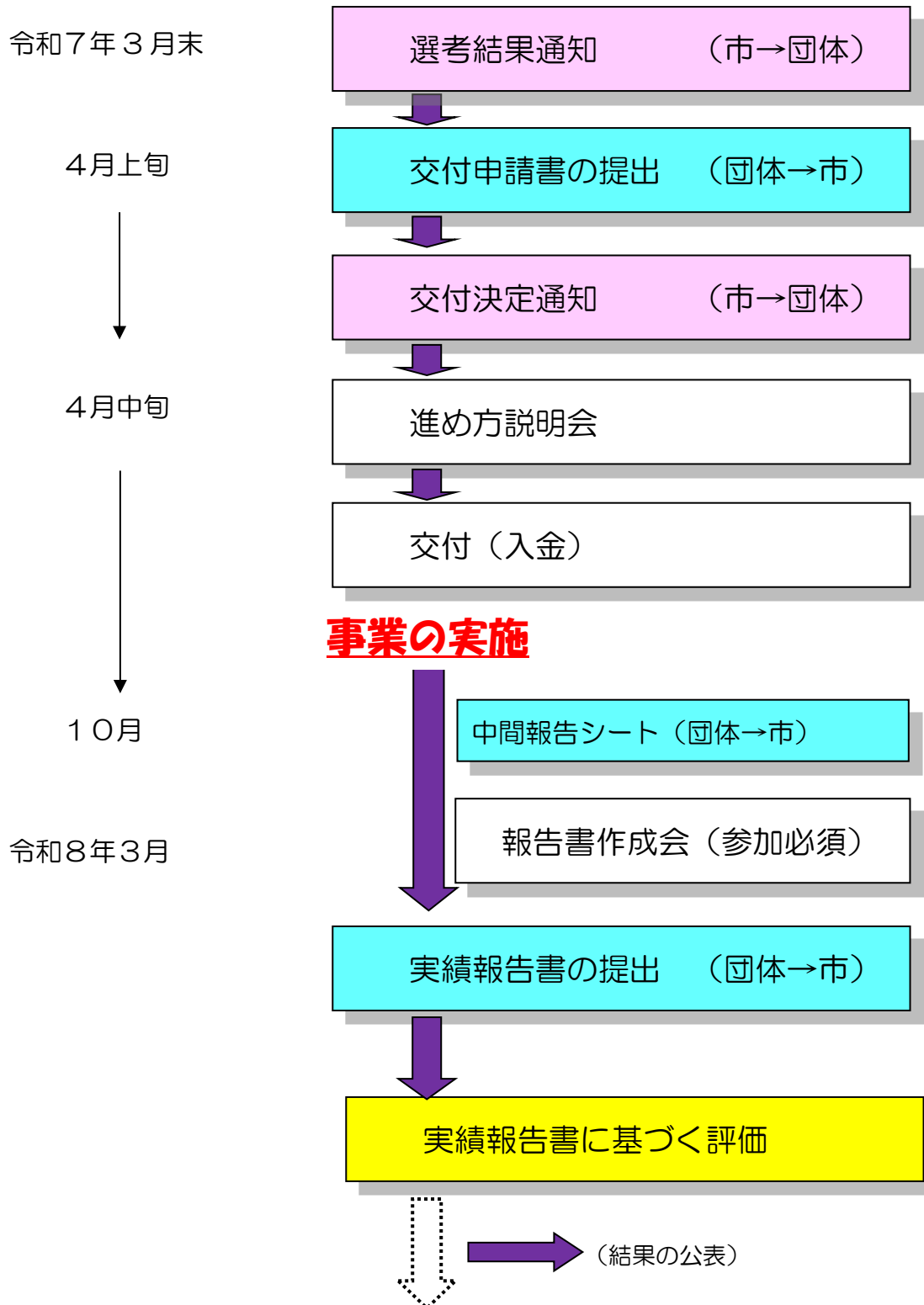
市民活動推進委員会が行う「事業内容」「効果」についての評価は、5段階評価とします。

評点	評価段階
5	事業実施前の想定をはるかによい方向に上回った。
4	事業実施前の想定をやや良い方向に上回った。
3	事業実施前に想定した範囲の内容であった。
2	事業実施前の想定よりやや低いと感じられた。
1	事業実施前の想定よりはるかに低いと感じられた。

### (3) 市民活動推進委員会の役割

個々の事業実施結果に対し、第三者的視点からの評価、助言を行うとともに、補助事業の全体像を把握することで、今後の制度改善や市民活動の推進、団体サポート等についての審議を効果的に進め、評価結果及び審議結果を行政にフィードバックします。

事業実施前の準備から評価までの流れ



評価結果は、市民自治推進課で一元管理し、市民活動の推進及び制度の改善に活用します。

市民活動推進基金にご寄附いただいた方々（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

寄附者（敬称略）	寄附金額（円）
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	1,006
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	49,951
益永 律子	10,000
ふるさと納税（匿名）	34,000
歌声サロン「チーパッパ」	13,676
匿名	20,000
ふるさと納税（黒川 亮）	13,000
ふるさと納税（匿名）	96,000
ふるさと納税（近藤 めぐみ）	20,000
ふるさと納税（匿名）	20,000
ふるさと納税（匿名）	11,000
匿名	10,000
ふるさと納税（匿名）	12,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	3,369
ふるさと納税（匿名）	76,000
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	58,266
ふるさと納税（匿名）	14,000
ふるさと納税（匿名）	13,000
ふるさと納税（匿名）	12,000
ふるさと納税（匿名）	20,000
ふるさと納税（匿名）	7,000
ふるさと納税（匿名）	13,000
ふるさと納税（匿名）	76,000
ふるさと納税（匿名）	13,000
ふるさと納税（匿名）	10,000
ふるさと納税（匿名）	14,000
ふるさと納税（米山 純平）	34,000
ふるさと納税（匿名）	5,000
ふるさと納税（匿名）	40,000
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	3,287
ふるさと納税（三国 桂子）	14,000
歌声サロン「チーパッパ」	11,107
合計（平成17年度からの合計）	747,662（15,145,108）

## 市民活動推進補基金 協力企業

市民活動推進基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただきました。

寄附者（敬称略）	自動販売機設置場所
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター



## 茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和8年6月13日現在

区分	委員名	所属
市 民	やま ぐち あつ し 山 口 敦 史	市民委員（公募）
	し みず とも み 清 水 友 美	市民委員（公募）
市民活動を行う ものの代表者	たか やま かず げ 高 山 和 茂	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会（副会長）
	さか た み ほ こ 坂 田 美 保 子	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター （理事長）
	し じょう くに お 四 條 邦 夫	NPO 法人セカンドワーク協会（理事長）
事業者の代表者	ま やま たか ひと 間 山 孝 仁	湘南信用金庫 （執行役員茅ヶ崎営業部長）
	かわ ごえ りゅう の すけ 川 越 龍 之 介	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所（専務理事）
	ふな やま よし のり 船 山 福 憲	株式会社タウンニュース社 （湘南支社副支社長兼茅ヶ崎編集室編集長）
学識経験を 有する者	わか ばやし ひで とし 若 林 英 俊	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会 （事務局長）
	やま た しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部（教授）



# 令和7年度実施市民活動推進補助事業 実績報告書

## スタート支援の部

No	事業名	団体名	ページ番号
①	「3Dプリンターで未来のものづくりを体験しよう！」	茅ヶ崎CAD部	P.10
②	茅ヶ崎の大家、空き家所有者ヒアリング事業 ～地域活動に興味のある大家、空き家所有者 のお困りごとと関係性づくり～	まちの紡ぎ舎	P.20
③	茅ヶ崎段ボールコンポスト チャレンジ大作戦	C3大作戦	P.36

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 8 年 3 月 30 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 茅ヶ崎CAD部

代表者氏名 木村朋道

令和7年4月14日付け7茅市自第32号で交付決定を受けました「3Dプリンターで未来のものづくりを体験しよう！」の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	「3Dプリンターで未来のものづくりを体験しよう！」
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>4月29日(火) 3名参加          6月28日(土) 0名参加          8月23日(土) 0名参加          9月20日(土) 3名参加          「話せるシェア本屋とまり木」にて4回開催          搬入・設営・撤収の練習としてのイベント開催</p> <p>10月13日(月)「こどもふれあいまつり」市役所1階 3Dプリンター、出力作品を見て頂きました。(体験イベント無)</p> <p>11月3日(月)「学びフェスタ2025」ハマミーナにて出力体験イベントを実地。事前のイベント告知を見て参加してくれた方がいました。(7名)</p> <p>11月16日(日)「茅ヶ崎地区コミセン祭り」体験者は少なめでしたが、3Dプリンターに興味を示した方が多くいらっしゃいました。(1名)</p> <p>12月6日(土)「高砂コミセン祭り」 例年通り、来場者が多いおかげで体験者も多かったです。(8名)</p> <p>(イベント以外の活動として)          10月2日(木) 「ボランティア塾in鶴嶺高校」鶴嶺高校へ3Dプリンター持参して、生徒さんに触れ合って頂きました。(体験イベント無 生徒21名)</p>
事業の参加者数	22人 (出力体験者人数)
事業の日程	2025年4月29日(火)、6月28日(土)、8月23日(土)、9月20日(土) 10月13日(月)、11月3日(月)、11月16日(日) 12月6日(土) 全8回

事業の成果と今後の展開

## ■ ウォーミングアップイベントの実施報告と手応え

本事業が採択された4月、早期に3Dプリンターを購入し、本格的な体験会に向けた準備を開始しました。本番をより良いものにするため、まずは「ウォーミングアップイベント」として計4回の試行開催を行いました。(体験は0人でも来店者には3Dプリンターについてお話させて頂いています)

この事前イベントを通じて、プリンターの組み立てや分解といったメンテナンス手順の確認はもちろん、参加者が実際に体験する際の「時間的な目安」や「進行スピード」を具体的に把握することができました。(開催場所は 話せるシェア本屋とまり木)

### 1. 体験プログラムの最適化

データ作りについては、試行錯誤の結果、題材を「ネームプレート」1つに絞ることにしました。これにより、私のサポートを合わせることで、

- CAD入力：10分
- 3D出力：10分 という、スムーズに運営できる時間配分の目安が見えてきました。

### 2. 世代に合わせたアプローチ

参加者の層に合わせ、以下のように柔軟に内容を使い分ける手応えも得られました。

- 子供たちに対して： まずは自由に、好きなようにPCを操作してもらう時間を大切にしました。直感的に触れることで、デジタルものづくりへの興味を自然に引き出すことができました。
- 大人の方々に対して： 単なる操作体験に留まらず、3Dプリンターや3Dデータが持つ将来性、そして社会における活用の可能性をしっかりとお伝えする時間としました。

これらのウォーミングアップを経て、機器の扱いから参加者への伝え方に至るまで、本番の体験会を成功させるための確かな

土台を築く事ができました。

## ■ イベント出店戦略と新たな試み

今後のイベント展開については、これまでの経験を踏まえ、より確実に効果的な運営を目指すことといたしました。

### 1. 出店形態の選択：既存イベントへの集中

自主開催については、集客や会場確保のハードルが高く、ハードルというのは、採択され4月に機械を購入し6月7月8月の開催だと駅から近い場所を確保するのが難しく、他のイベントと重なり集客が見込めることが出来ない事がわかり断念しました。うみかぜテラスでの開催するつもりで登録もしましたが車いす方の移動の事を考慮して断念しました。

もう一つ、前予約のキャンセルや参加予定者の遅刻といった運営上のリスクも想定されます。こうしたリスクを考慮し、集客力のある既存のイベントへの出店に、活動を集中させる判断をいたしました。これにより、運営リスクを最小限に抑えつつ、より多くの方に体験の機会を提供できると考えています。

### 2. 参加費の設定：500円（ワンコイン）へのこだわり

体験会の参加費については、一律「500円」と設定いたしました。これには明確な理由があります。都内での同種イベントの相場は1,000円～1,500円ほどですが、あえてこの価格にしたのは、「兄弟で一緒に参加したい」というご家庭や、「自分のお小遣いで参加してみたい」という子供たちの目線を大切にできなかったからです。誰もが気軽に手に取れる金額に設定することで、3Dプリンターの魅力をより広く届けてまいります。

### 3. 新たなチャレンジ：出力品の販売

また、今回の体験会と並行して、3Dプリンターで出力した作品の**販売**にも初めてチャレンジさせていただきました。「作る体験」を提供するだけでなく、「形になったものを商品として届ける」という新しい試みを通じて、3Dプリンターが持つ活用の幅や、ものづくりの楽しさを多角的に伝える機会となりました。販売したのはえぼし麻呂のチャームとクリスマスオーナメント等です

茅ヶ崎コミセン2個      高砂コミセン2個

## ■ 今後の展望と現在の取り組み

今後の展望をお伝えする前に、本年度の活動を振り返る中で、残念ながら課題として残った点が2点ございます。

### 1. 活動の反省点と予期せぬ変化

ひとつは、事業を推進することに注力するあまり、「毎月2回開催の勉強会の機会」を十分に確保できず、1回に減らしてしまった事。もうひとつは、教育現場への足がかりとして期待していた知人の教師が、体調不良により現場を離れてしまったことです。これにより、教育機関との連携に向けた貴重な窓口を一時的に失う形となりました。

### 2. 自主開催イベントへの再挑戦

改めて今後の展望として、新たな可能性も探っております。「学びの市民講師」に登録することで、市民ギャラリーの利用が可能になるという情報を得て、年明けに「自主開催イベント」実施することを計画しておりました。

しかしながら、現在は自身の業務が立て込んでおり、計画が停滞している状況です。まずは現状をしっかりと整理した上で、改めて自主開催に向けた準備を整えていきたいと考えております。

### 参加者の感想

#### 小学2年女子

リングの部分と、プレート部分の高さを合わせるのが大変だったけど、出力を待っている間は楽しみだった。

#### 80代女性

思ったよりうまくできました 教えて頂いてすぐに出来ました。

#### スタッフ感想

老若男女数多くの来場者で賑わい 改めてコミュニティの大切さを感じました 我々の3D展示にも多くのひとが関心を持っていただき 中でも高齢者の方が3Dプリンターを認知しているのが興味深かった

	<p><b>エピソード</b></p> <p>話せるシェア本屋とまり木に 3D プリンターを持込み、イベントを開催した時の事</p> <p>女性がお一人来店</p> <p>話を聞くとその方は鉄子さんと相模線に興味があり、休日を使って、乗車しに来たとの事。昼食を取るために付近を検索し、ヒットしたラーメン屋を訪ね、隣の本屋も気になってのぞいたところ、3D プリンターがあるので驚いたそうです。</p> <p>たまたまその女性も 3D プリンターに興味があり本の話より 3D プリンターの話で持ち切りになり、後日我々の勉強会に参加して頂きました。</p> <p>実はまだ続きがあり、そのおおよそ 5 か月後、都内でメイカーフェア-tokyo というイベントがあり、別団体として出展をしていたところ、「木村さん！」と声がかかり、そこにあの女性が・・・たまたま先輩に誘われて来場されたそうです。</p> <p><b>逗子ライブインクルーシブ 2026 へ模型提供</b></p> <p>3 月 22 日(土)逗子文プラザホールにて開催しました。逗子ライブインクルーシブ 2026 のコンサート会場で使用しました。なぎさホール（コンサートホール）の模型を提供しました。視覚障がい者の方々向けの「触って分かるタッチツアー」の為の模型（3D プリント製）</p>
--	--

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 団体収入	¥5,300	¥448	
2. 事業収入	¥30,000	¥13,000	体験参加者22名 ¥11,000 物販 ¥2,000
3. 補助金	¥100,000	¥66,000	茅ヶ崎市民活動推進補助金(返納34,000円)
	¥135,300	¥79,448	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
物品費	¥98,800 ¥12,000	¥69,800 ¥9,648	3Dプリンター フィラメント8/5 ¥1,044 フィラメント11/30 ¥2,634  ①延長コード10/12(1,848) ②重なる収納ケース蓋つき 10/12(602) ①+② ¥2,450  黒布(テーブル養生) ¥3,520
通信運搬	¥6,000		
印刷製本費	¥8,000		
	¥3,000		
使用料・賃貸料	¥1,500		
	¥6,000		
	¥135,300	¥79,448	

(第10号様式 (第17条関係))

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	Bambulab Almini Combo (3D プリンター)	4/23	¥69,800
	使用方法		
	3Dプリント体験イベント		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

- 備考
- 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。
  - 2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。
  - 3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。

# イベント風景1

話せるシェア本屋 とまり木



ハマミーナ



市役所1階



# イベント風景2

茅ヶ崎地区コミセン



高砂コミセン



市民活動推進補助事業実績報告書

令和 8年3月27日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 まちの紡ぎ舎

代表者氏名 大西 裕太

令和7年4月14日付け7茅市自第35号で交付決定を受けました「茅ヶ崎の大家、空き家所有者ヒアリング事業～地域活動に興味のある大家、空き家所有者のお困りごとと関係性づくり～」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

<p>事業名</p>	<p>茅ヶ崎の大家、空き家所有者ヒアリング事業 ～地域活動に興味のある大家、空き家所有者のお困りごとと関係性づくり～</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>&lt;大家、空き家所有者に対するヒアリング実態調査&gt;</p> <p><b>【概要と目的】</b></p> <p>茅ヶ崎に、茅ヶ崎らしい空き家活用の文化を醸成していくことを目的に、述べ19組の空き家所有者、大家へのヒアリング調査を実施した。</p> <p><b>【実施方法】</b></p> <p>現地訪問及びオンライン（Zoom）で行い、ヒアリングシートを元に、大家、空き家所有者の建物や土地に対する考え方や、建物に付随する個人的なストーリーを過去・現在・未来と個別に1時間半ほどヒアリングを行なった。</p> <p>なお、ヒアリング対象者については、最初はすでに関係性のある方からお声がけを始め、ヒアリングを受けた方に知り合いの空き家所有者や大家を紹介してもらうようお願いして対象者を広げていった。</p> <p>ヒアリング対象者のうち、初めましての方には事前に一度顔合わせの機会をセッティングして、お互いの自己紹介をして人柄を知る、事業の説明についても表情を見ながら補足的にスライドを使っでの説明をするなど、会話の中で説明の仕方を工夫した。</p> <p>&lt;ヒアリング対象者に向けたチラシ・パンフレットの作成&gt;</p> <p><b>【概要と目的】</b></p> <p>ヒアリング対象者に向けたヒアリング内容がわかりやすいチラシ、ヒアリング対象者に安心感を持ってもらうためのパンフレットの作成。空き家活用やまちづくりに興味関心のある幅広い人が報告会に参加したくなるチラシの作成。</p> <p><b>【作成物】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺の作成</li> <li>・ヒアリング対象者向けチラシの作成</li> <li>・報告会用のチラシの作成</li> <li>・パンフレットの作成</li> <li>・ヒアリングシートの作成</li> </ul> <p>&lt;ヒアリング内容を元にした、空き家や空き地、空きスペースなどの茅ヶ崎らしい活用の仕組みを考える報告会&gt;</p> <p><b>【概要と目的】</b></p>

	<p>茅ヶ崎らしい空きスペースなどの活用体制や仕組みづくりにつながる要素の抽出や出会いのきっかけとなることを目的にしたヒアリング報告会を実施。単なる報告会に留まらないように中間報告会では市民団体に協力してもらうことで人のつながりの広がりを持たせた。また、最終報告会ではヒアリングの中で活用を考えている空き家所有者の活用発表の場としても開催した。</p> <p><b>【開催場所】</b>  開催場所についても、活用事例となる場所及びこれから活用を考えている場所を選定した。  11/1(土)中間報告会：木熨斗（レンタルスペースとして活用）  3/8(日)最終報告会：夢の家予定地（今後コミュニティスペースとして活用準備開始）</p>
事業の参加者数	<p>&lt;ヒアリング参加者数&gt; 延べ<b>19組(24名)</b>  ①4/15：1名、②4/19：1名、③5/16：2名、④6/3：1名、⑤6/22：1名、⑥7/1：1名、⑦7/15：1名、⑧8/4：2名、⑨8/23：2名、⑩8/25：1名、⑪9/5：1名、⑫9/17：1名、⑬10/13：2名、⑭10/31：1名、⑮11/25：1名、⑯12/16：1名、⑰2/21：2名、⑱2/26：1名、⑲3/15：1名</p> <p>&lt;中間報告会参加者数&gt;  21名</p> <p>&lt;最終報告会参加者数&gt;  13名</p>
事業の日程	<p>&lt;ヒアリング日程&gt;  ① 4/15、②4/19、③5/16、④6/3、⑤6/22、⑥7/1、⑦7/15、⑧8/4、⑨8/23、⑩8/25、⑪9/5、⑫9/17、⑬10/13、⑭10/31、⑮11/25、⑯12/16、⑰2/21、⑱2/26、⑲3/15</p> <p>&lt;中間報告会日程&gt;  2025年11月1日(土)13:00～16:00</p> <p>&lt;最終報告会日程&gt;  2026年3月8日(日)13:00～16:00</p>

事業の成果と今後の展開

<定性的な成果>

(1) より自分たちらしい団体名への変更とコンセプトの見直し

団体名を「TAKURAMI不動産」から「まちの紡ぎ舎」に2025年11月1日付けで変更を行なった。

変更を考えるきっかけとしては、2025年6月に「広報ちがさき」に掲載していただいた際に、不動産仲介に関する問い合わせを多数いただいたことで、あらためて自分たちの活動について考える機会となった。

最初は出会いのきっかけの一つとして捉え、やり取りのコミュニケーションの中で団体の主旨をご理解いただければと考えていた。しかし、今後団体名の認知が広がっていった際に現在の体制では対応しきれないこと、また、ヒアリングをしながら空き家の活用を考える中で不動産仲介を目的としての問い合わせの方と空き家所有者の活用とがつながりにくいと感じたことで名称変更を考えるに至った。

そのため、2025年7月ごろより団体名、コンセプト、自分たちが大事にしたいことなどを改めてメンバー間で話し合い、より現在の自分たちらしい名称へと変更し、団体の主旨が伝わりやすいものにすることができた。

(2) ヒアリングを通じた活用を考える空き家所有者の出現

ヒアリングを通して、ヒアリングを受けた空き家所有者自身の棚卸しややりたいことを思い出す機会にもなり、実際に活用への動き出しにつながった。最終報告会の会場となった夢の家予定地は実際にプロジェクト化され、今後地域のコミュニティスペースとして生まれ変わる予定。

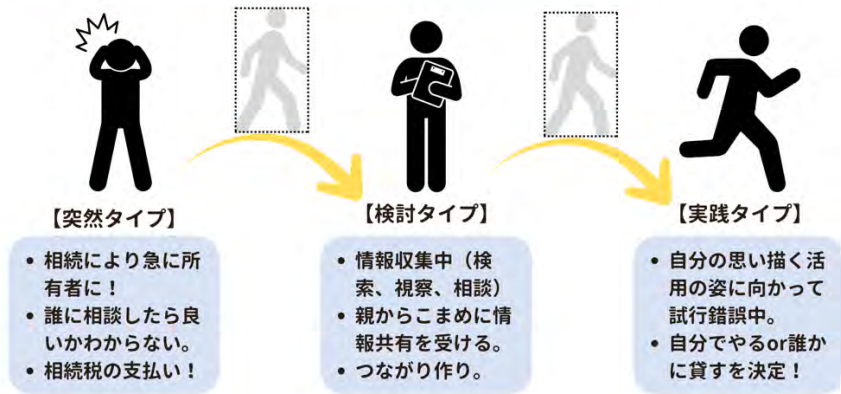
(3) 空き家所有者と活用したい人、手伝いたい人の出会いの場

中間報告会やヒアリングを通して人がつながり、リフォームが得意な人と誰に相談して良いか分からない空き家所有者の情報交換が生まれた。また、空き家所有者と活用したい人の共同プロジェクトが動き出すケースが生まれた。

(4) 空き家所有者の分類と課題の抽出

ヒアリングから、空き家所有者の分類と課題の抽出ができた。

## ヒアリングで見えてきた所有者さんの姿



「突然タイプ」：相続により急に所有者になった人

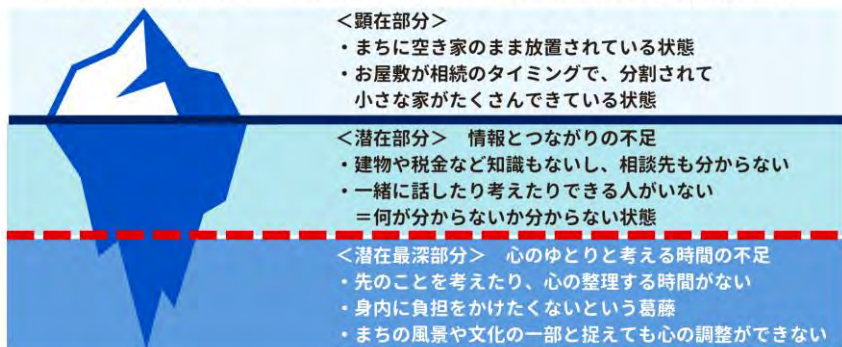
「検討タイプ」：親が存命。今後、所有者になる予定で情報収集など動き出そうとしている人

「実践タイプ」：自分で場づくりをする、人に貸すに関わらず、自分の思い描く活用の姿に向かって試行錯誤中の人

空き家問題における「気持ち」面へのアプローチの不足及び重要性が明確になった。その上で、基礎的な情報と話す機会や仲間などのつながりへとアプローチする二段構造が明確になった。

## 空き家問題における「見えない壁」

・多くの場合、放置したい訳ではなく、どうしたら良いかわからない状態にある。



「潜在最深部分」の気持ちの整理がつくまでの機会と時間が必要！！

### <波及効果と外部連携>

#### (1) 本事業を通じたまちの紡ぎ舎の認知向上

ヒアリングや報告会を通して団体の認知が向上し、気軽な相談窓口として様々な相談が持ち込まれるようになった。

#### (2) 専門家や団体など連携先の増加と関係性の深化

様々な相談が持ち込まれることで、まちの紡ぎ舎としての相談内容ごとの降り先としての連携先が増加した。また、

既存の連携先であっても得意分野が明確になるなどより関係性が深化した。

### (3) 団体としての立ち位置の明確化

本事業を通して、行政でもない、民間の不動産事業者でもない市民団体としての立ち位置が明確になった。

## 気持ちに寄り添ったアプローチが必要



## ちょうど中間だからこそできることを！



### <今後の展開>

#### (1) まちの紡ぎ舎としての優先順位の明確化

いきなり「突然タイプ」「検討タイプ」「実践タイプ」の全てのタイプへのアプローチは人的にも難しい。そのため、今後増えるであろう「検討タイプ」を大家未満と名づけ、優先してアクションを行う。意図としては「突然タイプ」の減少と「実践タイプ」へと走り出す人の増加を狙う。

## 未来の空き家所有者へアプローチ！

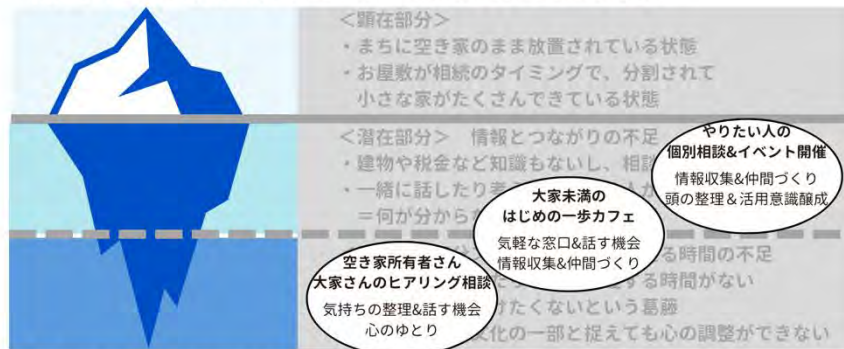


### (2) 2026年4月以降の企画と実装化

2026年4月以降に以下の3つを行うことを検討している。

## 「見えない壁」に対するアクション×3

・気持ちの整理&情報収集&仲間づくり&活用事例と意識醸成を行う



まだ時間のある「検討タイプ」のうちに選択肢を増やし、仲間づくりを！！

なお、「大家未満のはじめの一步カフェ」は2026年3月5日(木)にプロトタイプを実施した(次回は2026年4月3日(金)に第2回を予定)。今後ゆるやかなグループ化を検討中。「やりたい人の個別相談&イベント開催」は2026年2月15日(日)にプロトタイプを実施した。どちらも今後も継続予定。

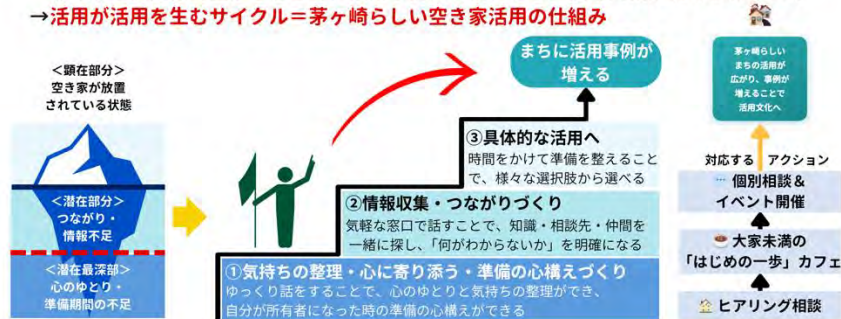
### (3) 事例が増えることで活用が活用を生む茅ヶ崎らしい空き家活用の仕組みを目指して

今回のヒアリングを通して、きっかけは様々ではあるが、空き家所有者自身にとって魅力的な事例に触れることで活用へと動き出したり、また、自身で活用せずとも「こんな人なら貸しても良い」という考えを持つ人も多いことがわかった。茅ヶ崎は多様なテーマで動いている市民団体が活発なこともあり、このような文化と合わせて活用が活用を生むサイクルを作っていくことが「茅ヶ崎らしい空き家活用の仕組み」につながると考える。

ここまでで見えてきた課題、それに対するアプローチと具体的なアクション、そこから「茅ヶ崎らしい空き家活用の仕組み」づくりの関係を整理したものが以下の図式化。

### 「見えない壁」における取り組み順序

・深い層から階段を上がることで、活用事例を増え、まちに活用文化が育まれていく  
→活用が活用を生むサイクル=茅ヶ崎らしい空き家活用の仕組み



「潜在最深部分」の気持ちの整理が、空き家活用の本当の第一歩目！！

#### (4) 茅ヶ崎近隣で活動している多様な団体との部分連携・適時連携

茅ヶ崎で活動している異なるテーマを持つ団体と関係性を紡ぎ、その団体の近況を「まちの紡ぎ舎」として知っておくことで、単に空き家を借りたいという団体と空き家所有者のマッチングだけでなく、物品をはじめ情報やスキルの持ち寄りや交換などを行う。

#### 多様なテーマの団体との部分連携・適時連携



例えば、空き家の片付けの際に家具などを欲しがっている団体がいた際に、廃棄せずに取りに来てもらうなどが生まれている。

空き家所有者、大家に対して気軽な窓口であると同時に、市民団体をはじめとした多様なテーマを持つ団体とも気軽な関係性をつくることで、つなぎ先としての部分連携・適時連携を行なっていく。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
団体収入	22,000	19,850	団体資金から充当
補助金	100,000	100,000	市民活動推進補助金
	122,000	119,850	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
印刷製本費	14,000	11,850	10/10名刺印刷費 1,740円 10/10報告会用チラシ印刷費 1,410円 11/30ヒアリングシート印刷費 150円 2/4ヒアリングシート印刷費 50円 3/9パンフレット印刷費 8,500円
使用料・賃借料	28,000	28,000	10/18中間報告会用の会場費 16,500円 3/8最終報告会用の会場費 11,500円
委託料	80,000	80,000	10/10名刺・デザイン費 10,000円 10/10報告会用チラシ・デザイン費 10,000円 11/1ヒアリングチラシ・デザイン費 10,000円 3/9パンフレット・デザイン費 50,000円
	122,000	119,850	

# 11月1日中間報告会のチラシ

## 茅ヶ崎らしい未活用物件 の未来づくりについて 考える会 with Peatix

～みんなのちょうどいいまちを  
考えよう！～

11/1 2025  
(土)  
13:00 ~ 16:00

場 所：木梨斗(きのし) @kinosh.chigasaki  
神奈川県茅ヶ崎市南湖3丁目17-20

参加費：無料  
申込み：Peatix でチケットを登録いただくか、  
インスタからDMをお願いします  
@takurami\_real\_estate

Peatix ページ  
はこちら

人口減少が現実化していくにつれて、空き家再生、古民家活用など、古い建物を再生し、なにかに活かしていこうという取り組みもますます盛り上がりを見せつつあります。

全国的に空き家活用の事例が増えていく一方で、既存の制度などの方法ではうまくいかないケースもあり、これからはそれぞれの地域に合った空き家活用のカタチやいろいろな団体との連携の仕組みづくりを考えていく必要があります。これはきっと地域で暮らすわたしたち一人ひとりの「ちょうどいい」まちを描くことなのかもしれません。

TAKURAMI 不動産は、まち歩きや物件の活用を考えるワークショップなどをしながら地域の皆さんとまちに新しい場を作っていく活動をしています。当日は TAKURAMI 不動産が「茅ヶ崎市民活動げんき基金」で行っている「茅ヶ崎の大家、空き家所有者ヒアリング事業」で見てきた空き家活用に必要なことを共有しながら、ご参加の皆さんと一緒に茅ヶ崎らしい物件活用の仕組みについて考えます。

そして今後、様々なテーマで活動している地域の皆さんと協力しながら「ちょうどいい」まちを作っていきたいと考えており、まずは「湘南のきさきフルーツプロジェクト(のきフル)」と一緒に開催したいと思います。

こちらは地域に活かすアイデアを楽しくお話しする会なので、空き家について知識や経験がなくても気軽にご参加いただけます。

**<こんな方はぜひご参加ください>**

- 空き家の活用に関心がある、何かしたい
- いつか自分でもお店や場づくりをしたいと思っている
- 未活用物件を持っている、将来、持つことになりそう
- 湘南のきさきフルーツプロジェクトの活動に興味がある
- TAKURAMI 不動産の活動に関わりたい ほか

**<スケジュール>**

13:00 ~ 13:20 オープニング、自己紹介  
13:20 ~ 13:45 本事業の紹介 & ヒアリングを通して見えてきたこと  
13:45 ~ 14:50 茅ヶ崎らしい未活用物件の活用タネ探しワークショップ  
14:50 ~ 15:00 まとめ、クロージング  
15:00 ~ 16:00 交流タイム

**<主催団体の紹介>**  
TAKURAMI 不動産 @takurami\_real\_estate

「ひとの想いと場を紡いで、みんなの「ちょうどいい」まちへ」をコンセプトに、やりたいことを持っている人と場を持っている人の出会うきっかけ作りを行っています。まち歩き、ワークショップなどの場づくりを通して、個性ある場がたくさんあるまちを目指します。

**<協力団体の紹介>**  
湘南のきさきフルーツプロジェクト @nokifuru

お宅の軒先に植えられている未活用フルーツをきっかけとして地域で暮らす誰もが「美味しく！楽しそう！」というシンプルな参加動機で気軽にかわり合い、つながり、助け合える、そんな豊かなまちの姿をめざす活動です。

TAKURAMI 不動産 お問い合わせ machinotsumugisya@gmail.com

# ヒアリング対象者向けチラシ

「まちの紡ぎ舎」は大家さん、地域の団体、まちを想う人たちと一緒に、茅ヶ崎らしい「ちょうどいい」物件活用のかたちを探る市民団体です

ひとの想いと場を紡いで、みんなの「ちょうどいい」まちへ

**まちの紡ぎ舎がめざすこと**

やりたいことがある人と物件を持っている人が、お互いを理解することからつながり、誰もが一つはまちに居場所を持ち、楽しく暮らしていける社会

やりたいことがある人

想い・熱意・理解  
応援・共感・理解

所有者(物件)

まちの紡ぎ舎

マッチングありきではなく、関係性からつながっていくことが大事!

意識変容

やりたいことを大きく描いて小さく始めてみる  
実践文化

多様な場  
個性あるお店や場がまちにたくさんある

つながり  
協力してくれる人がまちにいる

**今までの活動内容**

**地域の魅力発見！まちあるきの会**

目的もなく、様々な人と一緒にまち歩きをしてみることで、見えてくる地域の魅力やまちの姿が違ってきます。生活圏内のエリアを少し飛び出して、普段は歩かないまちを歩きます。あらためて茅ヶ崎というまちの魅力を再発見、まちや地域に求められる役割についてもご参加の皆さんと話し合えていくイベントです。

**空き家に関わる勉強会やイベント**

不動産・空家関係で活用されていたり、実際にお店を始めているなど、多彩なゲストをお呼びし、物件活用に関する情報をインプットしながら、地域にどう活かせるかを参加者と一緒にディスカッションしていきます。その他、サポセン主催のボランティアで高校生に授業をしたり、お片付けイベントも開催し、色々なアプローチで空き家に関わるイベントを行っています。

**空家所有者ヒアリング事業 (令和7年度茅ヶ崎市市民活動げんき基金補助事業)**

地域活動に興味のある大家、空き家所有者のお困りごとと関係性づくり

**対象者**

空家物件を所有している。また空家スペースを誰か大衆や所有者でそのスペースの活用を考えている人。また実際に活用している人。

**内容**

基本情報、建物や土地の歴史に関する質問、所有者様の人生ストーリー、現在の悩み、希望や今後の意向

**目的**

- ・所有者が抱える課題や想いを把握する
- ・活用文化の醸成や新たな活用の可能性を探る
- ・所有者にとって町に必要な役割、機軸の明確化

私たちの活動に興味があり、ヒアリングさせて頂ける大家さん、物件所有者さんを募集しています。お気軽にお問合せ下さい。

まちにひっそりと眠る空家と、誰かの心にある「やってみよう」。その二つが出会う場所。関係性の中から育っていく、多様なまちが生まれ、みんながそれぞれ「ちょうどいい」暮らしを創っていく。

問合せ先：まちの紡ぎ舎 machinotsumugisya@gmail.com

詳しくはこちら

まちの紡ぎ舎

## 名刺

ひとの想いと場を紡いで、みんなの「ちょうどいい」まちへ

more info

まちの紡ぎ舎

まちとロτζジの仕立て係

Natsuko Kashima  
鹿島 奈津子

#まち歩き #イベント企画運営  
#物件の利活用相談  
#お悩み整理

Mail machinotsumugisya@gmail.com

まちの紡ぎ舎

まちの風通し係

Ryo Kichikawa  
吉川 遼

#まち歩き #イベント企画運営  
#片付け&DIY #フットワーク軽め

Mail machinotsumugisya@gmail.com

まちの紡ぎ舎

まちと人の渡し守係

Yuta Ohnishi  
大西 裕太

#まち歩き #イベント企画運営  
#場づくり&コミュニティ運営  
#壁打ち相手

Mail machinotsumugisya@gmail.com

# パンフレット表

### まちの紡ぎ舎の目指す姿

やりたいことがある人と物件を持っている人が、お互いを理解することからつながり、誰もが一つはまちに居場所を持ち、楽しく暮らしている社会

マッチングありきではなく、関係性からつながっていくことが大事!

### 意識変容

やりたいことを大きく描いて、まずは小さく始めてみる。「実験文化」をまちに育みます

**多様な場** まちで暮らす人それぞれの「ちょうどいい」個性があふれるお店や場がまちに増え、彩り豊かな風景をつくります

**つながり** 困ったときに「助けて」と言い合える、ワクワク感と安心感のある関係性を紡ぎます

ひとの想いと場を紡いで、みんなの「ちょうどいい」まちへ

more info

@machinotsumugisya  
@machino.tsumugisya

Mail machinotsumugisya@gmail.com

令和7年度茅ヶ崎市市民活動けんき基金補助事業

### CONCEPT

ひとの想いと場を紡いで、みんなの「ちょうどいい」まちへ

まちにひっそりと眠る空間と、誰かの心にある「やってみたい」その二つが出会う場所を、関係性の中から育てていく。多様な人と場が生まれ、みんながそれぞれ「ちょうどいい」暮らしを紡いでいく

### 大事にしていること

マッチングよりも、まず関係性。条件だけで結びつけるのではなく、お互いの想いや背景を知ることから始める出会いのきっかけ作りを大切にしています。

まちと人の護り守係

**大西 裕太** Yuta Onishi  
茅ヶ崎市在住。休職を経て地域へ。「とまり木」での場づくりを経て、人と人の関係性や建物の想いを紡ぎ、それぞれにとって「ちょうどいい」暮らしやまちづくりを大切に活動中。

まちとロジックの柱立て係

**鹿島 奈津子** Natsuko Kashima  
茅ヶ崎市在住、東京のリノベーション会社にて不動産仲介の仕事をしています。物件の活用や町との関わり方をまちの紡ぎ舎を通してみなさんと考えていきたいです。

まちの風通し係

**吉川 遼** Ryo Kichikawa  
寒川町在住。祖父が営んだ家業の建具屋をしています。生活環境と地域環境が心地よく感じられるように、まちの紡ぎ舎の活動を通じて地域の声を聞きたいです。

# パンフレット裏

### 活動紹介

「まちの紡ぎ舎」はやりたいことがある人、大家さん、地域の団体やまちに暮らす人たちと一緒に、それぞれにとっての「ちょうどいい」場づくり、物件活用や暮らしのカタチを楽しむ市民団体です。

誰もが自分の「ちょうどいい」暮らしを楽しむことで、一人ひとりの個性がエリアや地域をかたちづくっていく、そんな豊かなまちを目指します。

**活動への主な参加対象者**

やりたいことがある人  
何かお店を始めたい  
趣味の集まりを開きたい

物件所有者(大家未満含む)  
実家の今後が心配  
空き家を地域のために活かしたい

まちのことに関わりたい人  
まちで何かをやりたい人や地域のために活かしたいと考えている所有者さんのサポートをしたい

#### まち歩き

目的もなく、様々な人といっしょにまち歩きをすることで見えてくる地域の魅力やまちの姿がきっとあるはず。生活圏内を少し飛び出して、普段は歩かない道をお話しながら歩くことで、あらためてまちの魅力を再発見。地域の課題や自分が好きなまちについても参加者の皆さんと一緒に考える会です。

<主な対象者>

#### みんなで掃除お片付け&DIY

実際に空き家の活用が始まったら、みんなで掃除やお片付けを手伝ったり、作る場所から皆さんと一緒に楽しみながら進めていきます。みんなで調べながら、考えながら進めていくことが多いので、DIYが初めてでもお気軽にご参加ください。これから地域にできる新しい場を一緒に楽しみましょう。

<主な対象者>

#### 大家未満<sup>※</sup>の勉強会

みんなで実家の将来などの困りごとを共有したり、学び合ったりすることで仲間づくりをしていきます。まずは悩んでいるのは自分だけではないと知ることで気持ちが楽になることも! 専門的な知識を学ぶというより、対話を通して次の一歩が見えてくると気軽に参加できることを大事にしています。

<主な対象者>

#### 空き家をテーマにしたイベント

すでに空き家活用の活動をしている人やまちで実際に場を始めた人をゲストにお招きし、みんなでワイワイ考えることで見えてくることも! これから空き家を活用していきたい人が発表し、一緒にみんなでアイデア出しをする会なども行っています。地域の課題も楽しく考えることを大事にしています。

<主な対象者>

#### 空き家所有者さん、大家さんのヒアリング相談

空き家所有者さんや大家さんのお話を聞くことは物件活用の第一歩(令和7年度茅ヶ崎市市民活動けんき基金補助事業として実施)。専門的な相談というよりは、建物との思い出などを言葉にするところからお話を伺うゆるやかな窓口として実施。どこに相談したら良いかわからない方も気軽にどうぞ!

<主な対象者>

#### やりたい人の個別相談&イベント

地域で自分のやりたいをカタチにしたい人の深掘りをしたり、広げたり。やりたいと思ったきっかけなどのお話をゆっくり聞きながら、頭の中を一緒に整理したり、これからの動きについてアイデアなどを考えたりします。どのようにやるかも、どうしてやりたいと思ったのかを大事にしています。

<主な対象者>

30

## ヒアリングの様子（対面・オンライン）



## 11月1日中間報告会



## 3月8日最終報告会



## 未活用不動産所有者へのヒアリング質問シート

### 1. 基本情報の確認

- ・ご所有の建物や土地の所在地や概要について教えてください。
- ・現在、その建物や土地はどのような状態ですか？  
(例：住める状態、修繕が必要、立ち入りが危険など)
- ・この建物や土地をどのくらいの期間利用されていませんか？
- ・現在利用されていない理由を教えてください。

### 2. 建物や土地の歴史に関する質問

- ・どのような経緯で取得したか教えてください。
- ・この建物や土地にはどのような歴史がありますか？  
(例：建築年、以前の用途、家族の思い出など)
- ・これまでどのように使われてきましたか？
- ・地元の方々や近隣住民との関わりがありましたか？
- ・建物や土地に関する特別なエピソードや伝統的な習慣はありますか？

### 3. 人生ストーリーに関する質問

- ・この建物や土地で、どのような生活を送られていましたか？
- ・この場所での生活で特に印象に残っている出来事がありますか？
- ・家族やご自身にとって、この場所はどのような意味を持っていましたか？
- ・この建物を建てられたときのエピソードや背景があれば教えてください。
- ・長年この建物や土地を所有する中で、大切にしてきたことはありますか？
- ・この場所で暮らしていた時、地域や近所の方々との交流はどのようなものでしたか？
- ・この建物や土地、地域に対して、特別な思い出や愛着はありますか？
- ・この場所に残る「らしさ」や「大切にしたい部分」があれば教えてください。

### 4. 現在の課題と悩み

- ・この建物や土地に関して、現在どのような課題を感じていますか？  
(例：維持費、老朽化、近隣への影響、固定資産税など)
- ・建物や土地の管理や維持について、具体的にお困りのことはありますか？
- ・ご家族や相続人との間で、この物件に関する話し合いをされたことはありますか？

### 5. 所有者の希望や意向

- ・この建物や土地の今後の活用について、どのような希望がありますか？
- ・売却や賃貸、その他の利用について考えたことはありますか？
- ・他の未活用不動産の活用事例を参考にしたいと思われませんか？

### 6. 地域やコミュニティとの関係

- ・地域で未活用不動産活用のための取り組みがあれば参加したいと思いますか？
- ・近隣住民や自治体と何か協力してできそうなことはあると感じますか？

### 7. その他の意見やコメント

- ・建物や土地の活用に向けて、何か懸念点や不安があれば教えてください。
- ・ヒアリングを通じて伝えたいことや、相談したいことはありますか？

## ヒアリング回答まとめ

幸福を感じるポイント・希望	
氏名	・大家を通して（自分の持っているもので）、自分を表現したい。これまでのまちへの愛着や残したいものをカタチにしてみたい。お金を払ってでも貢献したくなる人の背景に何があるのか知りたい。
氏名	・「救われた人が救える人になる」という恩返しの循環をしていきたい。表面上の関係性ではなく、困難があっても真の関係性の人たちと一緒に生きていきたい。
氏名	・おばあちゃんなど家族との思い出のカタチがそのまま残していきたい。繋いでいけること。地域コミュニティに関わってほしい。
氏名	・人が集まり、賑わう場が幼少期からの思い出で、自分の好きなもの（思い出のある建物土地もその一つ）を人と分かち合いたい。自分が一番楽しいと思えることを人とも共有・シェアしたい。
氏名	・親から受け継いだ財産を守りたい。近隣に迷惑をかけたくないことから、地域の一員としての責任を果たしたい。誰かの役に立ったり、社会的な課題解決に貢献したい。自由に使ってほしい。
氏名	・父親が「地元のために使っていただきたい」と大切にしている土地の考えに共感して、受け継いでいきたい。「ゆとり」や「調和」を重視し、圧迫感のないという美意識を大事にしたい。人にも見てもらいたい。身近なものを有効活用できる創造性と、それが物件の活用とも間接的に繋がっている。

## ヒアリング回答まとめ

幸福を感じるポイント・希望	
氏名	・人との繋がりと交流が生まれることがしたい。選択肢が増えることで可能性を楽しみたい。みんなで同じ体験をしたい。自身の人生の大切なものが抽象的な形だとしても残していきたい
氏名	経済的な成功と投資の面白さ、単に経済的利益を追求するだけでなく、物件がその場所で適切に機能し、再生されること、そして不動産投資を地域の活性化や人との交流に結びつけることで、活動の楽しさが増している
氏名	子どもが集まる楽しさ、遊び場の提供、自分自身がやりたいと思うことへの具体的な活動への意欲や新しいことへのチャレンジの場にしたい
氏名	場を開放することで、その場所が持つポテンシャルが発揮され、多様な人々とのつながりや学びの場となっていること。
氏名	この古い建物が持つ「この空間いいよねっていうのを共有できる」こと、そしてその家が「可愛がってもらってよかったね」と感じられること、単なるビジネス上の収益ではなく、愛着を持つ物件が生命を取り戻し、地域と人々の交流の拠点として機能していること、大切にもらえていることへの満足感

# ヒアリング回答まとめ

今、必要なこと	何に悩んでいるのか	ハード面の悩み
・近すぎない（行政区間ではない）距離での大家の仲間	・相続とかナイーブな話を誰にしたらいいのか	・修繕しなければいけない ・掃除をしなければいけない ・荷物を片付けなければいけない ・相続税など具体的な対応がわからない ・建物を残したい
・自分の周囲に、事例となる場の活用例があること。話を聞いてみる人がいること。	・自分がしたいと思っている活用方法は、どうやったら実現可能なのかわからない	ソフト面の悩み
・相続など、家族と普段から話せていること	・修繕しなければいけない、掃除をしなければいけない	・相続とかナイーブな話を誰にしたらいいのかわからない ・自分がしたいと思っている活用方法は、どうやったら実現可能なのかわからない ・活用したいけど家族の承諾が得られない ・ただ賃貸に出すなら不動産屋でいいけど、何か地域に貢献するための活用をしたい ・今ある風景を残していきたい
・自分の心の中にあることを話せる場や機会	・活用したいけど家族の承諾が得られない	
・誰かの役に立つ使われ方をする出会いの機会	・ただ賃貸に出すなら不動産屋でいいけど、何か地域に貢献するための活用をしたい	
・家族、親族との交友関係	・残していきたい	



市民活動推進補助事業実績報告書

令和8年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 C3大作戦

代表者氏名 横山 孝視

令和7年4月14日付け7茅市自第34号で交付決定を受けました「茅ヶ崎 段ボールコンポスト チャレンジ大作戦」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

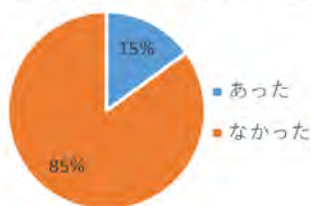
備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	茅ヶ崎 段ボールコンポスト チャレンジ大作戦																																																		
事業の実施内容  ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	<p><b>段ボールコンポストワークショップの実施内容</b></p> <p>簡単なクイズ 微生物に関するクイズを出し、挙手で回答していただきました。</p> <p>管理方法の説明 実際に生ごみを、段ボールコンポストに投入し、実演を通して、日々の管理方法を説明しました。投入可能な生ごみの種類、水分調整、かき混ぜ方、トラブル対処法を解説しました。</p> <p>容器の組み立て実習 段ボールコンポスト容器の組立方を解説しながら、一緒に組み立てました。その後、段ボールの中に土を入れて完成させました。</p>																																																		
事業の参加者数	<table border="1" data-bbox="475 678 1161 1093"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>場所</th> <th>参加組数</th> <th>参加者数</th> <th>キャンセル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/17(土)</td> <td>茅ヶ崎市コミュニティーホール</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7/6(日)</td> <td>香川公民館</td> <td>9</td> <td>11(1)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>7/26(土)</td> <td>青少年会館 美工室</td> <td>2</td> <td>3(1)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>8/23(土)</td> <td>青少年会館 美工室</td> <td>4</td> <td>5(1)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>10/18(土)</td> <td>香川自治会館 第一会議室</td> <td>6</td> <td>7(1)</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>11/22(土)</td> <td>香川自治会館 第一会議室</td> <td>4</td> <td>4(0)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>1/31(土)</td> <td>香川自治会館 第一会議室</td> <td>4</td> <td>7(0)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2/21(土)</td> <td>香川自治会館 第一会議室</td> <td>5</td> <td>7(0)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">計</td> <td>34</td> <td>44(4)</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">()は子供の人数</p>	日時	場所	参加組数	参加者数	キャンセル	5/17(土)	茅ヶ崎市コミュニティーホール	0	0	1	7/6(日)	香川公民館	9	11(1)	1	7/26(土)	青少年会館 美工室	2	3(1)	0	8/23(土)	青少年会館 美工室	4	5(1)	0	10/18(土)	香川自治会館 第一会議室	6	7(1)	4	11/22(土)	香川自治会館 第一会議室	4	4(0)	0	1/31(土)	香川自治会館 第一会議室	4	7(0)	0	2/21(土)	香川自治会館 第一会議室	5	7(0)	1	計		34	44(4)	7
日時	場所	参加組数	参加者数	キャンセル																																															
5/17(土)	茅ヶ崎市コミュニティーホール	0	0	1																																															
7/6(日)	香川公民館	9	11(1)	1																																															
7/26(土)	青少年会館 美工室	2	3(1)	0																																															
8/23(土)	青少年会館 美工室	4	5(1)	0																																															
10/18(土)	香川自治会館 第一会議室	6	7(1)	4																																															
11/22(土)	香川自治会館 第一会議室	4	4(0)	0																																															
1/31(土)	香川自治会館 第一会議室	4	7(0)	0																																															
2/21(土)	香川自治会館 第一会議室	5	7(0)	1																																															
計		34	44(4)	7																																															
事業の日程																																																			
事業の成果と今後の展開	<p>生ごみが“資源”に変わる体験に、地域の44名が参加しました。「すぐにやってみたい」という声広がった取り組みです。</p> <p>本事業では、段ボールコンポストの普及を目的としたワークショップを実施し、地域におけるコンポストの認知拡大に一定の成果が得られた。特に、広報手段の見直しにより参加状況に差が見られた。</p> <p>コミュニティセンター11拠点への掲示やジモティー、インスタグラムでの告知、小学校へのチラシ配布では応募が少なかった。一方で、回覧板を活用し約4,000世帯に周知したところ、応募数の増加が確認された。このことから、地域密着型の広報手段が有効であることが示唆された。</p> <p>また、ワークショップ運営では、材料を工程ごとに分割して配布する方法に変更したことで、準備時間の短縮と作業スペースの確保につながり、円滑な進行が可能となった。これにより、段取りの重要性や実施上の課題を把握することができた。</p> <p>さらに、参加者同士の情報共有により取り組みの輪が地域内で広がり、リピート参加者も2名確認された。今後は、地域密着型の広報を継続しつつ、運営方法のさらなる効率化を図り、より多くの住民が参加しやすい体制を構築していく。</p> <p>チラシ作成では、写真の掲載により実施内容を具体的にイメージできるようにし、重さやサイズを明記して持ち帰りの不安軽減を図った。</p>																																																		

アンケート結果のまとめ

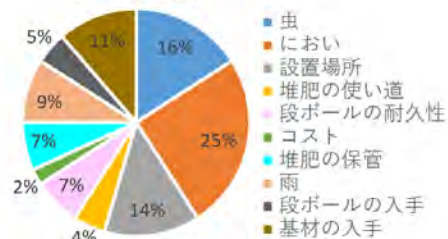
1.段ボールコンポスト経験



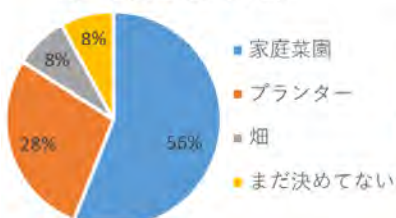
2.他容器の使用経験



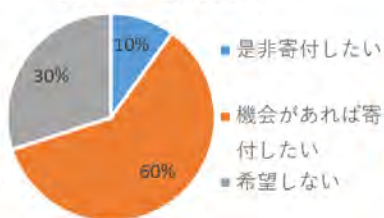
3.心配な点



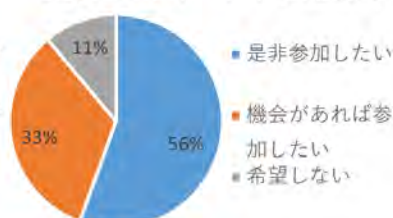
4. 堆肥の使用目的



5.堆肥の寄付意向



6.野菜作りイベント参加意向



アンケート結果では、参加者の多くが段ボールコンポスト未経験者であり（未経験22名／経験者4名）、初めて取り組む層への普及に寄与したことが示された。

また、他の生ごみ処理容器の使用経験がある参加者は6名にとどまり、多くが生ごみ処理自体に初めて関わる層であった。

段ボールコンポストに対する不安としては、「におい（13名）」「虫（10名）」が多く、次いで「設置場所」「段ボールの耐久性」「基材（土）の入手」など、運用に関する懸念が挙げられた。

一方で、「コスト」や「堆肥の使い道」に関する不安は比較的少なく、導入そのものよりも継続・管理面に課題意識があることが示唆された。

コンポストの利用目的としては、「家庭菜園（16名）」や「プランター（10名）」が多く、日常生活の中での活用を想定している参加者が多いことが分かった。

また、今後の活動に対する意向としては、「堆肥の寄付」について「機会があれば寄付したい」と回答した参加者が9名、「ぜひ寄付したい」が1名であり、地域循環への関心も一定程度認められた。

さらに、「野菜作りイベント」についても参加意欲が高く（参加希望計13名）、体験型・継続型の活動へのニーズが示された。

【参加者の声】

「とても丁寧な説明で理解しやすかった」

「材料が揃っていて参加しやすかった」

「すぐに実践してみたい」

といった肯定的な意見が多く、事業内容および運営方法に対する高い評価が得られた。

一方で、「堆肥の使い道や作業頻度に不安がある」といった継続に関する課題や、

「ぼかし肥作りの講座があるとよい」

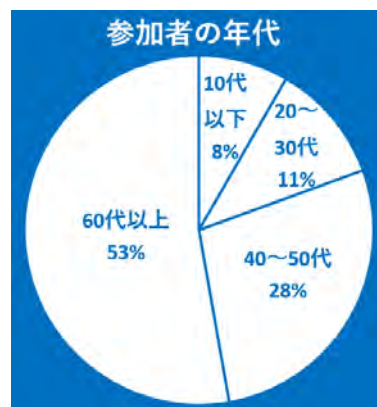
「子どもが集まる場での開催が望ましい」

といった今後の展開に関する要望も見られた。

また、「質問できる公式LINEが心強い」との意見もあり、継続的なフォロー体制の重要性が示唆された。

年代別では60代以上が最も多く、次いで40～50代であり、中高年層の関心が高い一方で、若年層の参加は比較的少ない傾向が見られた。

これらの結果から、本事業は未経験者層への普及および理解促進に寄与するとともに、実践意欲の向上につながったと考えられる。一方で、継続に向けた不安への対応や、体験型イベントの充実、若年層へのアプローチが今後の課題として示された。



本事業の結果を踏まえ、今後は段ボールコンポストの普及と定着を目的に、継続的かつ発展的な取り組みを推進します。

「作る・育てる・つながる」体験を通じて、誰でも気軽に参加できる活動を広げていきます。

- ① 定期的なワークショップ
- ② 情報交換の場づくり
- ③ 野菜づくりイベント
- ④ 子ども食堂への野菜寄付
- ⑤ 親子参加型の展開
- ⑥ 地域で出た草刈りごみの堆肥活用

本活動を通じて、環境に関心のある地域住民同士のつながりが生まれ、継続的に交流できるコミュニティが形成されつつあります。

地域の中で資源が循環し、人と人がつながる取り組みとして、今後も**定着と発展**を目指していきます。

## ワークショップの様子



収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 会費収入	¥11,405	¥15,118	「C3大作戦」にて負担（会費から充当） 参加者負担費用(材料費)¥1,000 x 参加者数 市民活動推進補助制度
2. 事業収入	¥42,000	¥34,000	
3. 補助金収入	¥100,000	¥100,000	
合 計	¥153,405	¥149,118	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
<b>【1. 物品費】</b>			
ワイヤーネット	¥23,100	¥16,720	不要になった
パーライト	¥4,620	¥0	
換気扇カバー	¥4,620	¥4,620	
不織布収納袋	¥4,620	¥5,500	
金属スコップ	¥4,620	¥3,740	
温度計	¥4,620	¥4,400	
ピタッと吸着マット	¥4,620	¥5,390	
鉢底ネット(1m)	¥9,240	¥9,020	
サージカルテープ	¥770	¥1,980	
クッキングシート	¥770	¥0	使用を想定していたが、使用しなくても同じ効果が得られた
結束バンド	¥770	¥770	
梱包用不織布袋	¥1,008	¥0	使用を想定していたが、使用しなくても同じ効果が得られた
ポリエチレン手袋L・S(120枚)	¥220	¥220	
フリーザーバッグL	¥440	¥440	
取手付きごみ袋	¥660	¥660	
アロマオイル	¥330	¥330	
段ボール	¥9,702	¥19,445	
段ボール底板	¥3,234	¥5,960	
ピートモス	¥5,250	¥5,918	
もみ殻くん炭	¥7,798	¥3,496	
EMほかし菌床	¥2,560	¥2,860	
ブルーシート	¥3,591	¥3,411	
収納BOX(75L)	¥13,332	¥13,332	
収納BOX(45L)	¥4,600	¥3,582	
キャリーカート	¥7,998	¥8,998	
計量カップ	¥1,848	¥1,919	
ホッチキス 卓上	¥2,105	¥4,445	
ハンディクリーナー	¥3,999	¥3,999	
買い物袋		¥14	購入品持ち帰りに使用
小計	¥131,045	¥131,169	
<b>【2. 使用料・賃借料】</b>			
香川自治会館(¥1,500x2回分)	¥3,000	¥6,000	1500円×4回
青少年会館美工室(¥1,360x2回)	¥2,720	¥0	青少年対象で無料
コミュニティホール会議室(¥1,670x2回)	¥3,340	¥1,460	1460円×1回
小計	¥9,060	¥7,460	
<b>【3. 印刷製本費】</b>			
白黒チラシ600枚(自治会用)	¥1,200	¥3,086	コピー用紙代1312円含む（印刷600枚） 5/15(1150円),7/7 (1404円),7/13 (875円) 見送り安価だった 80部（想定より多く配架した）
カラーチラシ1000枚¥5x4回	¥5,000	¥3,429	
段ボールコンポスト説明書	¥2,100	¥3,974	
団体PRパンフレット	¥5,000	¥0	
小計	¥13,300	¥10,489	
合 計	¥153,405	¥149,118	

# 段ボールコンポスター ワークショップのご案内

茅ヶ崎発の  
小さい段ボール  
コンポスト容器  
C(チー)ポス



エコライフ  
循環型社会  
SDGs  
堆肥作り  
生ごみ減量

外枠  
段ボール  
底板  
臭いキャップ  
カバー  
スコップ  
温度計

ピートモス  
もみ殻くん炭  
米ぬか  
EM菌  
竹炭

材料費千円を超える費用は、市民活動げんき基金スタート事業の補助を受けています。段ボールコンポスト始めるなら今がチャンスです。

ご家族！お一人様！ご友人と！どなたでもご参加頂けます！

開催日時 : 2025年5月17日(土)  
時間 : 10時00分~11時30分  
場所 : 茅ヶ崎市役所 分庁舎 5階  
コミュニティホール 会議室(A or B)  
参加費用 : 1,000円(材料費)  
参加組数 : 10組、1組で1個製作  
持参品 : はさみ



白い微生物が  
生ごみを分解

※当日作ったコンポスト容器(30cm角、約5kg程)は、準備しているビニール袋に入れて持ち帰り頂き、その日から生ごみ処理ができます。

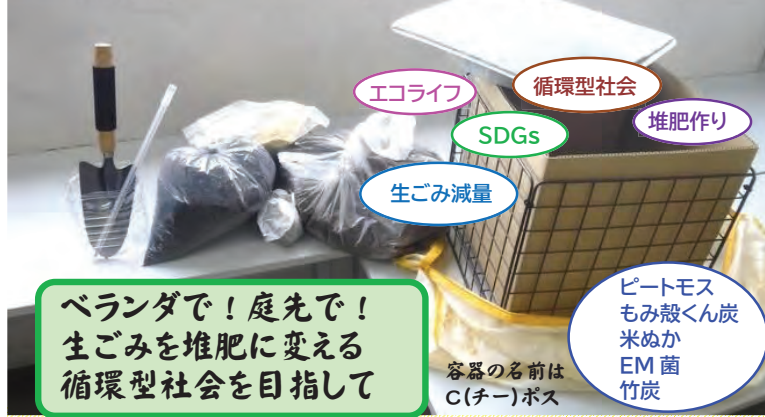
左記のQRコードから  
Google フォームに進み  
お申し込み下さい。



連絡先  
C3大作戦(シズラーイケン)  
Chigasaki Compost Challenge  
090-4270-3678(横山)  
c3daisakusen@gmail.com  
お気軽にご連絡下さい

出張ワークショップ、協賛企業、一緒にコンポスト作りのボランティア活動できる方を募集しております！

# 段ボールでコンポスト



エコライフ  
循環型社会  
SDGs  
堆肥作り  
生ごみ減量

ベランダで！庭先で！  
生ごみを堆肥に変える  
循環型社会を目指して

容器の名前は  
C(チー)ポス

ピートモス  
もみ殻くん炭  
米ぬか  
EM菌  
竹炭

開催日 : 2025年7月26日(土)、8月23日(土)  
時間 : 13:30~15:30  
開催場所 : 青少年会館 美工室  
参加費用 : 1000円(材料費・当日集金)  
参加組数 : 両日10組迄、1組で1個製作  
持参品 : はさみ



白い微生物等が  
生ごみを分解するよ

内容 : 土、米ぬか、ピートモス、もみ殻くん炭等を混ぜ、作業性がよく、衛生的なコンポストを段ボールで作ります。  
参加対象 : 老若男女 お一人様 ご家族 グループなど どなたでも  
小学5年生以上は一人参加可。  
1グループ5名まで可。  
万一、定員を超える場合は、30歳以下の方を優先させて頂きます。  
注意 : 重さ約5kg、30cm立方体のコンポストを持ち帰り頂けます。  
1グループ(またはおひとり)で1つ作ります。  
グループ内で複数個製作したい場合は、それぞれ別に申込んで下さい。

左記のQRコードから  
Google フォームに進み  
お申し込み下さい。



連絡先  
C3大作戦(シズラーイケン)  
Chigasaki Compost Challenge  
090-4270-3678(横山)  
c3daisakusen@gmail.com  
お気軽にご連絡下さい

材料費千円を超える費用は、市民活動げんき基金スタート事業の補助を受けています。ワークショップ、協賛企業、一緒にコンポスト作りのボランティア活動できる方を募集しております！

~ベランダ、庭先で生ゴミをたい肥に変える循環型社会をめざして~

# 段ボールで コンポスト



7月6日(日)  
10時~12時 香川公民館講義室

内容 : 土、ピートモス、米ぬか、もみ殻くん炭などを混ぜ、作業性がよく衛生的なコンポストを段ボールで作ります  
対象 : 老若男女 お一人様 ご家族 グループ等 どなたでも  
(小学5年生以上は一人参加可 1グループ5名まで)  
定員 : 10組(名) (申込制先着順)  
講師 : 横山 孝視 氏(C3大作戦 代表 裏面参照)  
持ち物 : はさみ  
材料費 : 1,000円/1個 当日集金  
(1グループで1つのコンポストを製作 個人参加は1つ製作)  
申込 : 6月8日(日)9時~ 申込フォームより  
窓口、電話不可

注) コンポスト(30cm<sup>3</sup>約5kg)を持ち帰ります。  
当日、運搬が困難な場合は公民館でお預かりし、後日引取り可です。



香川公民館  
54-1681

市内在住、在勤、在学の方優先

## 【講師紹介】

横山 孝視 氏(C3大作戦 代表)

香川在住。

コンポスターでたい肥づくりを始めるが、混ぜるのが大変！臭いが虫が！コンポスターが壊れる！などの課題を何度も試行錯誤を繰り返し、ストレスなく快適な段ボールコンポスターを完成！

この経験から、茅ヶ崎市市民活動げんき基金制度に参加し「C3大作戦」と名付け、コンポスト作りに取り組まれる方への支援とフォローを行い、段ボールコンポストを通して循環型社会に貢献しています。

\*C3とは、Chigasaki(ちがさき)、Compost(こんぼすと)、Challenge(ちゃれんじ)

## 【今回作るコンポスターの特徴】

- ・段ボールが壊れにくい造り
- ・混ぜる労力が少ない
- ・底が湿らない
- ・作業性がよく衛生的
- ・臭いを抑制する蓋付き



シャベル、温度計、土、ピートモス、もみ殻くん炭、米ぬか、段ボールネット、カバー等が材料費に含まれてます。

## 段ボールコンポストづくりワークショップ



ベランダで！庭先で！  
生ごみを堆肥に変える  
循環型社会を目指して

開催日 : 2025年11月22日(土)  
時間 : 14:00~15:30

開催場所: 香川自治会館 第一会議室

参加費用: 1000円(材料費・当日集金)

参加組数: 10組迄、1組で1個製作

持参品 : はさみ

内容 : 土、米ぬか、ピートモス、もみ殻くん炭等を混ぜ、  
作業性が高く、衛生的なコンポスト容器を段ボールで作ります。

参加対象: 子供~大人迄、どなたでも

小学5年生以上は一人参加可。

1グループ5名まで可。

注意 : 重さ約5kg、30cm立方体のコンポストを持ち帰り頂きます。

1グループ(またはおひとり)で1つ作ります。

グループ内で複数個作製したい場合は、それぞれ別に申込んで下さい。



白い微生物が  
生ごみを分解するよ

左記のQRコードから  
Google フォームに進み  
お申し込み下さい。



連絡先  
C3大作戦 (シーズリーダイサクセン)  
Chigasaki Compost Challenge  
090-4270-3678(横山)  
c3daisakusen@gmail.com  
お気軽にご連絡下さい

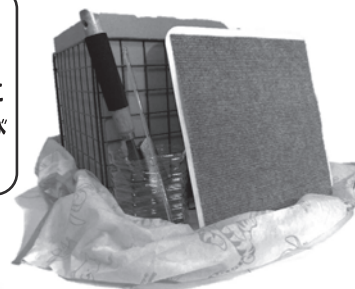
材料費千円を超える費用は、市民活動げんき基金スタート事業の補助を受けています。

## 段ボールコンポスト ワークショップ

生ごみが減ると、暮らしがちょっと楽しくなります

こんな楽しみがあります

- ・燃えるごみの量が半分に
  - ・土の変化を見るのが楽しみに
  - ・花や野菜に堆肥を使える喜び
- ※見学だけでも歓迎致します



ピートモス  
もみ殻くん炭  
米ぬか  
EM菌



1月31日(土)  
14:00~15:30  
香川自治会館  
第一会議室



▲スマートフォンで読み取って  
1月開催に申し込み

参加費: 1,000円(材料費・当日集金)

定員: 各回 10組

持ち物: はさみ

完成品(約5kg)をお持ち帰り頂きます

2月21日(土)

14:00~15:30

香川自治会館

第一会議室



▲スマートフォンで読み取って  
2月開催に申し込み

連絡先

C3大作戦 (シーズリーダイサクセン)

Chigasaki Compost Challenge

090-4270-3678(横山)

c3daisakusen@gmail.com

メールでも申し込み可能です

お気軽にご連絡下さい

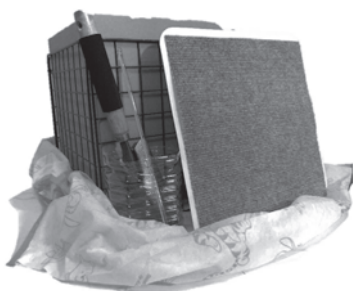
今年度は、市民活動げんき基金スタート事業の補助で、材料費千円を超える費用を賅っています。

## 段ボールコンポスト ワークショップ

生ごみが減ると、暮らしがちょっと楽しくなります

こんな楽しみがあります

- ・燃えるごみの量が半分に
  - ・土の変化を見るのが楽しみに
  - ・花や野菜に堆肥を使える喜び
- ※見学だけでも歓迎致します



参加費: 1,000円(材料費・当日集金)

定員: 各回 10組

持ち物: はさみ

完成品(約5kg)をお持ち帰り頂きます



ピートモス  
もみ殻くん炭  
米ぬか  
EM菌

2月21日(土)

14:00~15:30

香川自治会館

第一会議室



▲スマートフォンで読み取って  
2月開催に申し込み

連絡先

C3大作戦 (シーズリーダイサクセン)

Chigasaki Compost Challenge

090-4270-3678(横山)

c3daisakusen@gmail.com

メールでも申し込み可能です

お気軽にご連絡下さい

左記のQRコードから  
Google フォームに進み  
お申し込み下さい。



連絡先

C3大作戦 (シーズリーダイサクセン)

Chigasaki Compost Challenge

090-4270-3678(横山)

c3daisakusen@gmail.com

お気軽にご連絡下さい

今年度は、市民活動げんき基金スタート事業の補助で、材料費千円を超える費用を賅っています。

今年度は、市民活動げんき基金スタート事業の補助で、材料費千円を超える費用を賅っています。

# 令和7年度実施市民活動推進補助事業 実績報告書

## ステップアップ支援の部

No	事業名	団体名	ページ番号
①	ちがさきこどもマルシェ	ちがさきこどもマルシェ実行委員会	P.44
②	保護犬の現状と、犬と暮らす人間のより良いありかたを知らせよう	湘南1Leben	P.56
②	人生を最後まで楽しむための「414カード死生観対話会」と「大切なものを見直す終活お話し会」	にじカフェ	P.64

第9号様式（第17条関係）

市民活動推進補助事業実績報告書

令和8年 3月 31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称

ちがさきこどもマルシェ実行委員会

代表者氏名

金子 有希

令和7年4月14日付け7茅市自第38号で交付決定を受けました「ちがさきこどもマルシェ」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>ちがさきこどもマルシェ2025</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>こどもがお店屋さんを開いてまちとつながるマルシェイベント。今回、市役所前で大規模となってからは2回目の開催となった。今年度は年長から小学校6年生までのこどもたちが個人、または3人以下のグループで自ら考え形にした計36店舗が出店。</p> <p>出店に向けて、3ヶ月前から「こども会議」や「ワークショップ」を重ね横のつながりを深めながら、マルシェ当日への取り組みを通して思いを深めあった。また、それを取り囲むように大人の出店者が見守り、「みんなが主役の小さなまち」が実現した。</p> <p>(日程) 令和7年11月23日  (場所) 茅ヶ崎市役所前広場  (対象) こども出店者36店舗、大人出店者25店舗  ※内、企業出店1店舗  (来場者) 3,500人</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <p>■スタッフミーティング</p> <p>5/8 実行委員会キックオフ打ち合わせ  対象：実行委員メンバー7名  実施方法、場所等：当日までのフローを作り、それぞれに責任者と役割分担を行う。  (運営チーム) こども運営(実技指導含む)、大人出店対応、広報・ホームページ、チラシ、会計、共催関連の5チームで構成。</p> <p>5/12 サイト構成ミーティング  6/4 ズームミーティング(募集に向けて)  6/23 募集チラシ入稿  ズームミーティング  7/10 ホームページ開設  7/13 ズームミーティング  7/30 運営会議 @Cの辺り  8/8 親子説明会事前ミーティング @アソビバード  8/22 ズームミーティング 親子説明会最終調整  9/17 こども会議事前ミーティング @うみかぜテラス  9/20 ズームミーティング  9/23 ズームミーティング 配置会議</p>

10/1 イベントポスター配布開始  
10/8 配置会議（現地視察含む）  
11/10 イベントリーフレット配布開始  
11/12 こども会議事前ミーティング  
11/22 最終確認ミーティング @茅ヶ崎カフェ  
11/29 振り返りミーティング

※その他、分科会にて日々ミーティングや細かい調整あり。

■7/10 エントリーに向けた募集リーフレット配布開始

内容：昨年度、こども会議などへの参加が無かったり等、イベントの内容への理解が伝わらず若干名、目的が満たされなかった経緯を踏まえ、今年度は説明会への参加を応募条件とした。ミーティングによって決定した募集要項を記載し、ポスターやリーフレット（資料あり）SNS等にて親子説明会への告知・募集を開始。

■8/24 親子説明会 うみかぜテラス

参加に興味がある親子を対象に説明会を実施し、イベントの内容や目的などを知って頂いた上で「どんなお店がやりたいか?」「意気込み」などをエントリーシートに記載し、エントリーする。（別紙資料あり）

■エントリー期間 8/20～9/10

親子説明会参加者に配布された上記のエントリーシートに記載しエントリー。今回の説明会には出店数を大きく上回りそうな人数の参加があったため、できるだけグループでの出店（ひとブースに2店舗合同等）を呼びかけることで、1人でも多く参加できるような配慮を行う。保護者の同意のもと子どもが自らの意志で応募できるように説明する。募集期間終了後、多少の調整をし、予定数を1つ上回る36店舗の出店で応募者全員が参加できるように努めた。

9/20 応募者全員に出店の可否と今後のスケジュールをメールにて送信する。

■10/5 第一回こども会議

こども62人とその保護者が参加

対象：こども出店者、保護者

内容：出店希望者への概要説明等（販売単価の上限や各種注意事項）を実施。こども会議では、こども出店者がお互いを知り合うためのコミュニケーションワークや、お金の大切さを学ぶワークショップを実施。保護者へはイベントの趣旨や著作権に対する考え方を伝え、同意書記入を依頼するとともに質疑応答の時間を持ち、安心して出店して

もらうための環境づくりを行う。

場所：うみかぜテラス

イベント告知のポスターを配布。

こどもたち一人一人が自分たちのマルシェを広げるべく、市内各所に配布する。

#### ■10/19 出店に向けたワークショップ開催

対象：こども出店者希望者

内容：今年度、アートの専門家に運営チームに加わっていただいたことで、こどもたちが商品作成にあたり、表現方法等の相談が一人一人行えるよう設定。またその他にも、商材写真が撮影できるブースや、会場装飾を作るブースを設定し、マルシェに向けて商品はもちろん会場全体の運営を感じ、さらに気持ちが高まることを目的に行った。個別の相談はじっくりこどもの「やりたい表現の形」を聞き出し、専門家によって、それにあった提案やアドバイスが的確にあり、作品表現の向上につながっていた。また、商材写真ブースもほとんどの参加者が利用し、本物のお店のような宣材写真となり感動していた。

場所：うみかぜテラス

#### ■11/16 こども会議 2 回目

対象：こども出店者希望者とその家族（こども 63 名）

内容：出店キッズ全員の 68 名が参加予定であったが、異例のインフルエンザ大流行により、5 名が欠席となってしまった。会議においても対策として換気やマスク着用、こまめな水分補給などを呼びかけて、対策を行いながら実施する。

運営側が用意した布に各グループでオリジナルの看板をさまざまな素材を用いて（ポスターカラー等やハギレ）作成。

その後、午前・午後の出店チームに分かれて出店に対する接客の練習などを行い、実際に入れ替え制で持参した商品を並べてデモンストラーションを行った。

場所：うみかぜテラス

#### ■11/23 イベント当日

対象：出店者及び来場者（3,500 人）

内容：7:00 より運営チーム会場入りし準備を行う。

こども 36 店舗中、インフルエンザにより 1 店舗が欠席。

また他にも 1 人欠席で 34 名となった。

すぐに売り切れてしまう店舗もあったり、リーフレット片手に目的のお店目掛けてきてくれる来場キッズの姿もあり、終始賑わっていた。

準備から搬出まで怪我や大きなトラブルは無く終了。

→当日ボランティアは救護の看護師を含めて6名。  
開催時間までに安全対策に最大限に配慮して準備、設営を行なった。  
イベント中は、ボランティアとともに子ども・大人の出店サポート、  
場内見まわり、来場者案内を行い、終了後は速やかに撤収を実施した。  
場所：茅ヶ崎市役所前広場

■12/20 出店者振り返りアフターパーティー

(こども34名、大人17名)

対象：こども出店者及びその保護者

内容：自宅にてそれぞれ振り返りを行っていただいたのちに、それを  
持ち寄り親子を交えた3つのグループにわかれ、グループディスカッ  
ションを行う。今年度の反省や感想だけに留まらず、次年度へのやっ  
てみたいことをこどもに聞いてみたり、保護者にはスムーズな運営に  
向けての率直な意見を伺った。

第二部として、クリスマスも近いことから、会食を楽しみながら、余  
ってしまった出店商品を景品として募り、ビンゴゲームを行なった。  
このことがさらに出店者同士の繋がりを育んでいた。

場所：市役所コミュニティホール

○マルシェに取り組んでみてどうだったか？

〈こども〉

- ・こども会議に参加して、他の人の意見を聞いたり、見たりできるのが面白かった。
- ・全部売れて嬉しかった。
- ・全部売ることはできなかったけど、喜んでもらえて嬉しかった。
- ・やることがいっぱいあって大変だったけど楽しかった。

〈大人〉

- ・どこまでこども任せにしているか、要所要所で迷ったが、親子二人三脚で取り組めて良かった。
- ・期間中、忙しくもあったがこどもマルシェの取り組みを通して、子供と濃密な時間を過ごすことができ良い思い出になった。
- ・社会の仕組みやお金について体験を通して学ぶ貴重な経験になった。
- ・知らないこどもや大人とコミュニケーションをたくさん取り、繋がりを持つことができた。

○次回も参加したいか？また、どんなマルシェだったら良いか？

- ・とても楽しかったので、次回も絶対参加したい。
- ・習い事などとのバランスが難しい部分もあるので、日程や時間など、もう少し柔軟だと参加しやすい。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生になっても参加したいと思う。</li> <li>・今回は売れ残ったのが悔しかったので、次は全部売れる物を考えたい。</li> </ul> <p>&lt;事業の広報について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■チラシ・ポスター</li> <li>■リーフレット</li> <li>■ホームページ</li> <li>■公式 SNS (Instagram)</li> <li>■市の広報掲示板</li> <li>■タウンニュース 11/21</li> <li>■FM ちがさき (こどもマルシェ特集) 11/22</li> </ul> <p>・リーフレットやポスターは大人出店の店舗やイベント開催に共感してくれる地域の店舗・学童・幼稚園・保育園などに掲示及び配架した。また、コミュニティセンター (11 館・10 部) や図書館などの公共施設にも配架。子ども出店者が自らの手で友人や知人、学校や習い事等に配布。</p> <p>・インスタグラムでは SNS 担当がデザイン・撮影などの運営を担い、出店者確定後、出店者紹介の投稿を実施。また、会議の内容などをアップし、イベントの目的や内容の周知に力を入れた。</p> <p>・各日程の動画や写真を撮影・編集し、随時ホームページに反映。イベントとの連動感を大切に。また動画は次回以降の PR に使用。</p>
事業の参加者数	<p>事業の参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出店者 (こども) 68名と (大人) 29店舗</li> <li>・来場者数3,500人</li> <li>・運営メンバー 7名</li> <li>・撮影・SNS・動画スタッフ 3名</li> <li>・当日ボランティアスタッフ7名</li> </ul>
事業の日程	<p>事業の日程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8/24 親子説明会・出店募集開始</li> <li>・9/20 出店キッズ決定</li> <li>・10/5 第1回こども会議</li> <li>・10/19 ワークショップ</li> <li>・11/16 第2回こども会議</li> <li>・11/23 こどもマルシェ本番</li> <li>・12/20 振り返り会</li> </ul>

事業の成果と今後の展開

〈今回の成果〉

前年度の反省点を活かしつつ今年度は以下の点に重点を置き、さらなる拡充を意識した。

① 〈こども会議の内容充実〉アート表現の専門家をチームに迎え、子どもたちの表現を最大限に引き出し、表出出来るようなワークショップを組み込んだりと会議の充実を図った。マルシェ前に子どもたちと集まる機会も1日増やしたことで、目的である「つながり」もさらに育まれていたように思う。また、専門家から教わることで材料の幅も広がり、知識も育まれて「本物」に触れる機会だった。

② 〈ホームページ制作〉専門機関に発注したことで誰もが使いやすく、伝わりやすいホームページを作成し、こどもマルシェの認知度向上とブランディングに注力した。特にデザインにこだわり、こどもマルシェのコンセプトとマッチした「クリエイティブな街ちがさき」らしい、デザイン性の高い物が完成した。また、ホームページの運営もイベントに合わせて都度更新することで、イベントの「今の取り組み・こどもたちの姿」を手にとるようにわかるようにすることで、イベントの目的である過程の重要性を伝えることができた。このように仕組みが広がった為か、SNSでの企業や個人から出店の問い合わせや、共催の問い合わせがあったり、他県から同じような活動をしている・したいと考えている方が当日のマルシェに足を運んでくださるなどのことが今回はじめてあった。このような声を次回開催に向けて繋げていきたい。

〈今後の展開〉

今回の助成金を最大限に活用させて頂き、昨年度には予算上叶わなかった内容を具現化出来たことで、来年度はこれをフルに活用し、地域社会に働きかけて巻き込みながら自力で運営していきたいと思う。具体的には、ホームページを活用しながら地域の企業に協賛を呼びかけ、運営資金を集めると同時に、イベント内容も広げて行きたい。少しずつ広げ、深めていきながら子どもたちにとって地域社会に興味を持ち、繋がる事が出来るイベントとして継続させていきたいと考えている。

〈ちがさきこどもマルシェ4つのたいせつにしていること〉

●まちとつながる

お買い物やさまざまな経験を通して、お店屋さんとお客さんがつなが

り、お客さん同士がつながり、まち全体がつながるような時間・空間をつくれます。

●夢を描く・叶える

お店やさんの夢、先生になる夢、自分のお金で買い物する夢。オトナの見守りの中で、みんなが夢を描き、叶えられる場を育みます。

●本物を感じる・体験する

本物のお金を扱い、プロの仕事に触れて、こどもたちが本物を感じる体験を提供します。

●こどもが楽しむ・オトナも楽しむ

こどもたちはもちろん、オトナもおなじく全力で楽しみます。

これは、子ども基本法に定められた子どもの「参加する権利」を保障することにもつながると考えています。

いつか、このような時間・空間が茅ヶ崎のまち全体へと伝播していくことを願い、継続的にマルシェを開催していくとともに、想いを共有できる地域の他団体と共同で規模の大きなイベントやワークショップも開催し、より多くの子ども・大人と機会を拡大していきたいと考えています。また、他の地域やまちの有志の方々からもこどもマルシェを開催したいという声が届いており、ノウハウを提供することで茅ヶ崎から全国へと広げていきたいと考えています。



# エントリーシート

グループで1枚の提出です。



エントリーシートの提出はこちらから▲  
9月10日 (水) 締切

## 8. ねだん (こどもどうしでたのしくかえるねだん)

100円  300円  500円  その他 (      円)

※ できれば1,000円以内にしてね。

※ ワークショップは500円までがおすすめ。

## 9. なにをうりますか? (くわしくかいてね。絵でもO.K.)

## 10. こどもマルシェでがんばりたいところは? (じゆうにかいてね)

## 1. チームみんなのなまえ (ニックネームでもO.K.)

## 2. がくねん

## 3. おみせのなまえ (まだきまっていなくてもO.K.)

## 4. ジャンルをえらぼう! (すきなものに○をつけてね)

- いきもの・しぜん (むし、きょうりゅう、うみのいきものなど)
- くそう・ファンタジー (プリンセス、まほうつかい、うちゅうなど)
- のりもの (でんしゃ、くるま、じこつきなど)
- しゅみ・あそび (スポーツ、おんがく、かいがなど)
- たべもの (スイーツ、フルーツなど)
- ぶんか・せかい (おまつり、にんじゃ、かいぞくなど)

## 5. スタイル・テーマをえらぼう! (〇〇風。3つまでO.K!)

- かわいい  かっこいい  おもしろい  ワクワク  ファンタジー風
- ロック風  ガーリー風  その他 (      )

## 6. つくりかたをえらぼう! (使うものや材料に○をつけてね)

- おりがみ  ねんど  レジン
- ダンボール  がようし
- さいりようそざい (おうちにあるいるらないもの)  セロハンテープやのり
- その他 (      )

## 7. 「ワークショップ」か「はんばい」か、どっちにする? (りょうほうでもO.K.)

- ワークショップ (おしえる・いっしょにつくる)
- はんばい (じぶんでつくってうる)

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
団体負担金	15,000	62,298	前期繰越金
事業収入	175,000	140,000	大人出店 5,000円×25店舗 15,000円×1店舗
事業収入	35,000	36,000	こども出店 1,000円×36店舗
補助金	500,000	500,000	
	725,000	738,298	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	110,000	95,000	カメラマン3万、SNS運用3万、当日7名×5,000円
物品費	30,000	44,378	看板制作・領収書・毛糸・麻紐・テント重り用水・レジヤシート・画用紙・クリアホルダー・養生シート・ビンゴカード・ホワイトシート・アクリル絵の具ラミネートフィルム・ラミネーター・養生テープ・生地
印刷製本費	32,000	32,000	A3パンフレット1,500部、A4両面ポスター1,300部
デザイン費	160,000	176,000	A3折パンフレットデザイン費、A4両面ポスターデザイン費
WEBページ制作	180,000	180,000	サイト設計・ワイヤーフレーム制作、デザイン制作 Wordpressインストール・初期設定・DB作成 WPテーマ開発:コーディング
動画制作費	80,000	80,000	企画・進行費、撮影費、編集・音響費
使用料・賃借料	133,000	130,920	うみかぜテラス使用料8/24 3,720円 うみかぜテラス使用料10/5 1,920円 うみかぜテラス使用料10/19 2,400円 うみかぜテラス使用料11/16 2,880円 テントレンタル料 (60,000円) トリパーノレンタル料 (60,000円)
	725,000	738,298	

# ちがさき こどもマルシェ

～みんなで作る小さなまち～

2025年  
**11月23日**★  
10:00～16:00  
午前の部:10:00～12:00  
午後の部:13:00～16:00  
@茅ヶ崎市役所前広場  
雨天順延予備日:12月7日(日)

大集合  
おとなによるプロ出店29店舗  
こどもが本気でつくった38店舗

中学生までのこどもがお店を開いて、サービスを提供して、まちとつながる「ちがさきこどもマルシェ」。こどもたちの「やりたい!」が花開く「小さなまち」を心と体いっぱいでお楽しみください!

ちがさきこどもマルシェ実行委員会 茅ヶ崎市 茅ヶ崎カンパニー

ホームページできました!  
スケジュールや会場の様子をチェック  
https://kodomo-marche.com

ちがさきこどもマルシェ公式Instagram  
@chigasaki\_kodomo.marche

「ちがさきこどもマルシェ」は茅ヶ崎市若き基金補助事業です。「ちがさきこどもマルシェ」は小学生～中学生の子どもが中心を担っています。

## 自分でつくったもの、大好きなもの・こと、将来の夢・・・ こどもたちの本気がぎゅっと詰まった38店舗が出店!

「どんなものをつくろう?」「どんなお店にしよう?」出店キッズたちの冒険は、夏休みから始まっています。親子説明会、2回のこども会議、ワークショップ、初出店の子は、手探りで作品やお店のイメージを少しずつ膨らませて、自分なりに試作や実験を繰り返す日々。一方の出店経験者は、「もっとこうしたい!」「もっとお客さんに喜んでもらえるもの」と、本気度がさらにアップ。こうして試行錯誤を積み重ねて、マルシェ当日までの道のりを一歩ずつ歩んでいます。

出店キッズたちは、当日どんな表情を見せてくれるのでしょうか?こどもたちの本気に、ぜひ会いに来てください!

### 2025年のおとな出店発表 / キッチンカー、物販、ワークショップなど、合計29店舗! こどもたちを取り囲むプロの出店者たち

パン屋トランドイ	cuni-pan	8Brice	いこだますた食堂	HINODE FALAFEL	Smoke Factory	Soairo	MON REVE (モーンレヴ)
海南後援農産物産「道のキッチン」	マリカール	ヨニーのチョコバナナ	kāsi	shi-mu-ffan	ロゼ	SUN RIVER GOLF&COFFEE	あまぎ1717
海南のものがたり農産物産(後援:10/28)	spice please!	鎌倉木質	tozoco	BOHO natural	umu.	KAO KAO RANDA STUDIO	ナチュラキーンエクスプロータル
tetoto*	stellar yufe	Go with the flow	private salmon Hygge	バカシストム			

● 飲食関連 ● 雑貨販売 ● 体験・WS  
● ビューティー ● 企業ブース

# ちがさき こどもマルシェ

2025  
～みんなで作る小さなまち～

11/23日  
茅ヶ崎市役所前広場にて開催!  
雨天順延 予備日:12/7(日)

## 出店キッズ [年長～中学3年生] 募集

このまちで、みんなの夢をカタチにしよう。

「ちがさきこどもマルシェ」は、中学生までのこどもがお店を開いて、サービスを提供して、まちとつながるマルシェイベント。自分でつくったもの、大好きなもの・こと、将来の夢、やりたい!という本気を詰め込んで出店するこどもたちを募集しています。

**出店資格**  
年長～中学3年生の個人・グループ(3名まで)  
※2回のこども会議・こどもマルシェ本番のすべてに参加できる方

8/24(日) 10:30～11:30 親子説明会(うみかぜテラス) ※参加必須

9/10(水) 出店キッズ募集受付締切 ※説明会で配布のエントリーシートを添付しwebにてエントリー

9/20(土) 決定通知(メールにて連絡)

10/5(日) 第1回こども会議(うみかぜテラス) ※参加必須

10/19(日) ワークショップ～個別相談会～ ※参加任意

11/16(日) 第2回こども会議(うみかぜテラス) ※参加必須

11/23(日) 10:00～16:00(午前中は分かれて出店) こどもマルシェ本番 ※当日、振り返りの会も開催予定です。

**出店希望の方は、親子説明会へ必ずご参加ください。**

説明会申し込み締切  
2025年8月20日(日)

申し込み方法  
右記のQRコードからアクセスし、期日までにフォームへ入力してください。

chigasaki\_kodomo.marche  
Q https://kodomo-marche.com

主催: ちがさきこどもマルシェ実行委員会  
共催: 茅ヶ崎市  
協力: 茅ヶ崎カンパニー

ちがさきこどもマルシェ 出店アイデア発見シート

どんなものが好き? すきなこと・たのしいことを書いてみよう!  
たとえば アクセサリー、どうぶつ、むしなど

どんなお店をつくってみたい? じぶんで作ったものをうるとしたら  
どんなふうになるかな? 自由に文字や絵でかいてみよう!

これは練習シートなので、提出は自由です。アイデアを、たのしく考えてもらえたらと思っています。



市民活動推進補助事業実績報告書

令和8年 3月31日

(あて先)茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 湘南1 Leben

代表者氏名 古知屋友里

令和7年4月14日付け茅市自第37号で交付決定を受けました「保護犬の現状と、犬と暮らす人間のより良いありかたを知らせよう」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>保護犬の現状と、犬と暮らす人間のより良いありかたを知らせよう</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>基本になるシェルターでの保護犬の世話と、里親探しの譲渡会開催を年間続けて、開催した。</p> <p>その結果、今年度の譲渡数は18頭。新規受入12頭。シェルター内は、常時30頭程度を5人程度のボランティアの体制で世話している。</p> <p>浜見平ランチ3で13回。</p> <p>4月13日(日)、5月11日(日)、6月8日(日)、6月22日(日)、7月27日(日)。8月10日(日)、8月24日(日)、9月7日(日)、9月21日(日)、12月14日(日)、1月11日(日)、2月8日(日)、3月1日(日)11:00~15:00、来場者はそれぞれ30人前後。</p> <p>その他市内で譲渡会4回実施。</p> <p>わんにゃんマルシェ11月9日(日)、来場者3000人程度。</p> <p>茅ヶ崎市保健所譲渡会10月4日(土)、来場者50人程度</p> <p>海の家石田屋譲渡会7月6日(日)、8月3日(日)17:00~20:00 来場者はそれぞれ30人程度。</p> <p>チャリティーバザーなど市内で6回。</p> <p>石田屋チャリティライブ7月20日(日)、来場者30人程度</p> <p>バリアフリー七夕2025年7月4日(金)、来場者200人程度</p> <p>ランチ3夏祭り8月23・24日、来場者200人程度</p> <p>さくらみちこども秋祭り9月23日(祝)、来場者数100人程度</p> <p>市民活動サポートセンターこどたん3月14日(土)、</p> <p>合同トレーニングウォーク里山公園6月14日(土)、12月7日(日) 参加者それぞれ30人程度。</p> <p>運営資金獲得のため、その他クラウドファンディングやマンスリーサポーター制度を開設。400人程度が参加。</p> <p>保護犬の背景と社会のあり方への情報提供などの啓発は、それぞれのイベントの際にパネルなどで掲示した。</p> <p>講演会については、わんにゃんマルシェで被災地の動物捜索や避難の方法を指導している活動家を招き、講演会を実施。市内での災害時の対応を考えるきっかけ作りができた。被災地で保護団体が協力して動物と人間が同室で避難生活をした地域では、犬の問題行動や健康悪化が少なく、大変効果的だったエピソードが語られた。会場が屋外の公園であったため、会場代を支出せず、聞き手にチケット販売をせずだったため、予定していた講演会での収入はなし。</p> <p>生命の大切さに関する講演会が講師とのスケジュール調整が難航し当初予定した形では実施せず。合同トレーニングで同様の趣旨の話を、代表とドッグトレーナーが参加者に向けてしている。</p>

事業の参加者数	上記の通り
事業の日程	上記の通り
事業の成果と今後の展開	<p>スピーカーセットや拡声器が講演などのスピーチでとても聞き手に伝わりやすく、参加者からも好評であった。プリンターやインク、紙類、プラダンやフレームパネルは、掲示資料をわかりやすく理解しやすく作成することができた。のぼり看板（セイル型）は、従来のタイプよりも注目を集め来場者からも取材メディアからも好評で、湘南らしい雰囲気も会場に出すことができた。収納用品やボックス類は、販売する商品やチラシ類を損なわず運搬しやすく管理することができて、イベントの準備や片付け、保管がとても効率的だった。基金にこれらを助けていただき購入したことが、とても効果的で感謝をしている。シェルター大規模修繕のためのクラウドファンディング8月4日～9月30日、参加者600人程度。</p> <p>啓発の効果を数字で確認することは難しいが、支援と一緒に送られてくるコメントなどで「直接活動に参加できない地域や生活であっても、応援することで気持ちを届けることができてありがたい」、「活動報告レポートなどで、生命の大切さに関する情報が得られて改めて認識することが多かった」などの感想をいただいている。団体の今後の方向としては、世話ボランティアや預かりボランティアの新規募集に、引き続き力を入れていく。また、団体の特定非営利活動法人立ち上げを申請中。提出したチラシを作成し、活動のPRをしていきたい。また安定した運営のための資金作りの方法を、さらに検討していく。SNSなどでの情報発信と譲渡会での犬との出会いが重なることで譲渡が進む部分も大きく、広報でも努力をしていきたい。また、里親希望家族の年齢層が高いことが多く、人間の状況と合った犬とのマッチングが重要と感じている。飼育を始めたいという思いはあっても、今後世話が困難になる生活の変化なども犬を紹介する中で伝える必要がある。物価上昇や気候変動、在宅時間の変化で飼育が難しい場合は、安易に考えてしまうことの危険性も伝えていかなければならない。人の欲望を満たす道具として犬が扱われることは避けていきたい。</p> <p>また、災害時に動物が行方不明になったり、動物と一緒に暮らしているために人の避難が困難になったりしないよう、発災前に準備できることを多様に問題提起していく。必要物品の備蓄や犬に家族の指示がしっかり届く普段からのかかわりの大切さ、地域の被害想定や避難方法などの情報集めに努めることもお勧めする。その中で避難所内での同室エリア設定などの実現可能性について、市民の意見も集めたい。今年度実施が思うようにできなかった講演会などは、改めて計画し、参加を呼び掛けていく。テレビ番組出演での反響はある程度あり、打ち合わせも含めて長い期間かかる取り組みではあるが、協力したい。</p>

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1 団体収入	68,590	130,021	寄付などからあてる。
2 事業収入	110,000	0	講演会チケット販売せず。
3 補助金収入	416,000	301,000	市民活動推進補助制度(返納115,000円)
合計	594,590	431,021	

支出

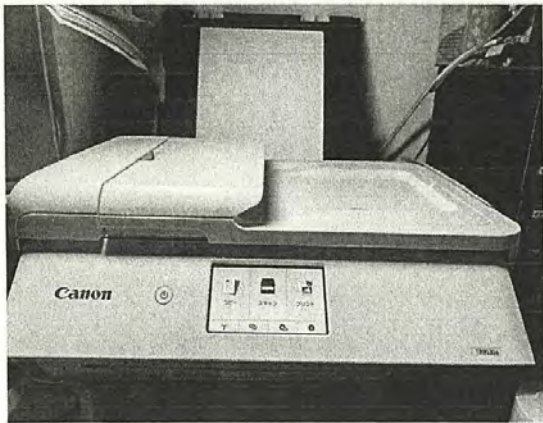
科目	当初予算額	決算額	内 訳
1 謝金	60,000	20,000	チームうーにゃんUSAさんで1回
2 旅費	72,300	72,300	スタッフ交通費964円×75名(中赤羽根⇄戸塚、 中赤羽根⇄鎌倉)市外ボランティア謝金 (譲渡会は17回実施)
3 物品費	380,829	330,090	スピーカーセット13,980、拡声器8,398、 フレームパネルセット13,335、 コンテナ 7,273、ボックス50, 596、 スチールラック43,138、プリンタ37,800、 インク82,960、プラダン3,938、 ラミシートA3 7,663、A4 8,472、 マット紙A5 640、A4 4,050、 マット紙A3 12,458、 のぼり看板セット25,253、 コピー用紙 10,136
4 印刷費	38,121	8,631	チラシ 8,631
5 借用費	43,340	0	駐車場代、会場借用料のつもりだったが、 屋外の別イベントの中で講演会開催。
合計	594,590	431,021	

第10号様式（第17条関係）

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	プリンターCANONPIXUSピクサス TR9350a	2025.7.29	37,800
	使用方法		
	啓発掲示板資料をカラーでわかりやすく作成し、印刷することができたため、生命の大切さを伝えることが大変効率的にできるようになった。		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	スピーカーセット マイク2本付属Bluetooth対応	2025.4.29	13,980
	使用方法		
	無線マイクからの音声をスピーカーで聞き取りやすく周囲に流すことができ、講演会や進行司会の際に周囲から借用せず使用することができた。無線でスマートフォンやタブレット端末からのBGMを流すこともでき、会場の雰囲気づくりにも役立った。		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

- 備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。
- 2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。
- 3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。





# 特定非営利活動法人 湘南ワンレーベン 会員募集のお知らせ

これまで有志の任意団体として活動してきた、湘南1Leben  
これからも、一生懸命生きようとする  
犬たちの未来を明るくひらいていくため、  
責任をもって継続的にこれまでの経験を活かしていくために  
会員制度をつくり、さらに努力していきます。

## ▶▶▶ 会員の種類

この会には、2つの種類の会員資格があります。  
同じ方が複数の会員資格に同時に入会することはできません。



### 正会員

- 年会費 10,000円(個人、団体とも)
- 当法人の運営方法を決めていく年1回程度の総会で議決権をもつ会員です。
- 運営にかかわる理事や監事などの役員は、ここから選出します。

### 賛助会員

- 年会費 個人一口 3,000円 団体一口 5,000円(口数を選択)
- 当法人の活動の趣旨に賛同して支援をしてくださる会員です。

## 湘南1Lebenの理念

法人会員とは、このような考え方を理解していただける方です。

- 🐾人間と動物が共生できる社会環境の整備が必要
  - 🐾動物それぞれの特性に合った、動物たちが最大限幸せに過ごせる環境
  - 🐾殺処分、飼育放棄、遺棄などの人間都合で動物の生きる権利が脅かされることが無い環境
- 🐾上記のような環境により、人間社会も心豊かで安心できるものになり、公共の利益につながる

## 入会方法

入会の際は必要事項をお伝えいただくとともに、指定の口座へ会費をお振込みください。入会金はありません。当法人が[必要事項のご連絡]および[会費のご入金]を確認した日が入会日となります。

### 必要事項

- ・お名前/ご住所/電話番号/メールアドレス/ご希望の会員種別/レーベンとのこれまでのつながり方/レーベンに一言メッセージ

### 振込先

- ・ゆうちょ銀行【以外】からお振込
  - ・金融機関:ゆうちょ銀行(9900)/支店名:〇九八(098)/口座番号:普通 0570995/口座名義:シヨウナンワンレーベン
- ・ゆうちょ銀行からお振込
  - ・金融機関:ゆうちょ銀行(9900)/記号:10940/口座番号:普通 05709951/口座名義:シヨウナンワンレーベン



入会申し込みは湘南1Lebenホームページのお問い合わせフォームからお願いします！

**私たちの保護活動を応援してください！**

市民活動推進補助事業実績報告書

令和8年3月26日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 にじカフェ

代表者氏名 錢坂則子

令和7年4月14日付け7茅市自第36号で交付決定を受けました「人生を最後まで楽しむための「414カード死生観対話会」と「大切なものを見直す終活お話会」」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>人生を最後まで楽しむための「414カード死生観対話会」と「大切なものを見直す終活お話し会」</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p><b>【414カード死生観対話会】</b></p> <p>第1回目</p> <p><b>【開催日程】</b> R7年6月28日(土) 10時～14時</p> <p><b>【場所】</b> にじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20</p> <p><b>【講師】</b> 幸ハウス代表 川村さん(緩和医)</p> <p><b>【参加人数】</b> 18名・にじカフェスタッフ3名</p> <p><b>【内容詳細】</b></p> <p>6名ずつのグループを作成。テーブルを囲んだ着席スタイルで実施</p> <p>10時～ 「After I dieカード」を使って自己紹介</p> <p>10時30分 幸ハウス・「414カード」についての紹介と事例紹介 (パワーポイント使用)</p> <p>11時～ 「414カード」の体験・気持ちのシェア</p> <p>12時～ アロマとタッチング体験</p> <p>13時～ ランチ交流会</p> <p>14時 終了</p> <p>第2回目</p> <p><b>【開催日程】</b> R7年10月25日(土) 10時～14時</p> <p><b>【場所】</b> にじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20</p> <p><b>【講師】</b> 幸ハウス共同代表 植竹さん(看護師)</p> <p><b>【参加人数】</b> 14名・にじカフェスタッフ2名</p> <p><b>【内容詳細】</b></p> <p>4～5名程度のグループを作成。テーブルを囲んだ着席スタイルで実施</p> <p>10時～ 「After I dieカード」を使って自己紹介</p> <p>10時30分 幸ハウス・「414カード」についての紹介と事例紹介 (パワーポイント使用)</p> <p>11時～ 「414カード」の体験・気持ちのシェア</p> <p>12時～ アロマとタッチング体験</p> <p>13時～ ランチ交流会</p> <p>14時 終了</p> <p><b>【大切なものを見直す終活お話し会】</b></p> <p>第1回目</p> <p><b>【開催日程】</b> R7年7月25日(金) 10時～14時</p> <p><b>【場所】</b> にじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20</p> <p><b>【講師】</b> 終活ナビゲーター 北村さん</p> <p><b>【参加人数】</b> 13名・にじカフェスタッフ2名</p>

	<p><b>【内容詳細】</b>  6～7名程度のグループを作成。テーブルを囲んだ着席スタイルで実施  10時～ 自己紹介  10時30分 さまざまなエンディングノートの紹介と事例紹介  (パワーポイント使用)  11時～ 茅ヶ崎市のエンディングノートを活用し、テーマごとに  記入。都度気持ちのシェアを繰り返す  12時～ アロマとタッチング体験  13時～ ランチ交流会  14時 終了</p> <p><b>【大切なものを見直す終活お話し会】</b>  第2回目  <b>【開催日程】</b> R7年11月22日(土) 10時～14時  <b>【場所】</b> にじカフェ 茅ヶ崎市幸町13-20  <b>【講師】</b> 終活ナビゲーター 北村さん  <b>【参加人数】</b> 10名・にじカフェスタッフ3名  <b>【内容詳細】</b>  5名ずつのグループを作成。テーブルを囲んだ着席スタイルで実施  10時～ 自己紹介  10時30分 さまざまなエンディングノートの紹介と事例紹介  (パワーポイント使用)  11時～ 茅ヶ崎市のエンディングノートを活用し、テーマごとに  記入。都度気持ちのシェアを繰り返す  12時～ アロマとタッチング体験  13時～ ランチ交流会  14時 終了</p> <p>※告知方法  ・チラシを作成。地域包括支援センターをはじめ、茅ヶ崎市が作成した認知症あんしんガイドに掲載されている施設や市内の訪問看護・介護ステーションへチラシを送付。にじカフェのお客様へ手渡しました  ・にじカフェのホームページ・インスタグラム・Facebook・公式ライン内で適宜告知しました</p>
事業の参加者数	6月 18名＋スタッフ3名 7月 13名＋スタッフ2名 10月 14名＋スタッフ2名 11月 10名＋スタッフ3名 お客様トータル55名

<p>事業の日程</p>	<p>【414】 第1回目 6月28日土曜日/第2回目 10月25日土曜日  【終活】 第1回目 7月25日金曜日/第2回目 11月22日土曜日  全て10時～14時開催</p>
<p>事業の成果と今後の展開</p>	<p>【事業の成果と感想】</p> <p>本事業では、「414カードを活用した対話会」と自分と対話しながらエンディングノートに書き込む「大切なものを見直す終活」をテーマに講座を開催し、参加された方が人生観や死生観について安心して語り合える場を提供することができたのではないかと感じています。</p> <p>日常生活の中では、「人生の最期」や「自分らしい生き方」について話す機会は少なく、家族同士でもなかなか話題にしづらいテーマだと思いますが、414カードを用いた対話という形やエンディングノートを実際に書いてみるという形をとることで、参加者が自然に自分の考えや思いを言葉にすることができる環境をつくることができたと思います。</p> <p>対話会では、「どのように生きていきたいか」「大切にしたいことは何か」「人生の最期をどのように迎えたいか」といった問いについて、参加者がそれぞれの経験や価値観を共有し合い、互いの考えを尊重しながら深い対話を行うことができていたと感じます。</p> <p>参加者からは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段は話すことのないテーマを安心して話すことができた</li> <li>・自分の気持ちを整理するきっかけになった</li> <li>・家族とも話してみたいと思った</li> <li>・人生について前向きに考える機会になった</li> <li>・家族とやってみたい</li> <li>・両親に聞けたら聞いてみたい</li> <li>・他の方の話を聞くことができ新たな気づきとなった</li> <li>・はじめての方とも以前からの知り合いのように温かな雰囲気ですラックスして向き合うことができた</li> </ul> <p>という感想がありました。</p> <p>終活講座では、終活の一環としてエンディングノートに焦点をあて、実際にノートを開き、書いてみる時間を設けるワークショップスタイルでの開催となりました。</p> <p>参加者の中には、エンディングノートの存在を知っていたり、すでに手元に持っていたりする方もいらっしゃいましたが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持っているだけで書いていなかった</li> <li>・開いたことがほとんどなかった</li> </ul> <p>という声が多く聞かれました。</p>

今回は講師のナビゲートにより、講座の中で実際にノートを開き、自分の思いや大切にしたいことを書いてみる時間を設けたところ、

- ・きっかけがないと書けなかったからよかった
- ・一人ではなかなか進まないが、みんなで取り組むことで書き始めることができた
- ・書き始めたらどんどん書き進めることができた
- ・続きも早く書いてしまいたいと思った
- ・色んな人の顔が頭に浮かんで、懐かしくうれしい時間となった
- ・家族といっしょに書きたいと思った
- ・人生の日記のようで楽しかった

といった声がありました。

私錢坂は講座後自宅で最後まで書き切ることができました。

このことから、エンディングノートは知識として知っているだけでなく、実際に書き始めるための機会や場があることが大切であることが分かります。参加者が自分の人生やこれからの生き方について具体的に考えるきっかけとなったことは、本事業の大きな成果の一つであると考えます。

アロマとタッチング体験では、前半にミニ講座としてスキンシップとタッチングの違い、触れるということ、好きな香り・苦手な香りが持つメッセージ、そして好きな香りに包まれる心地よさについてお伝えしました。その後は、あえて植物の名前を伏せた状態で香りを嗅ぎ、それぞれが直感で「好き」と感じる香りを選び、その香りを使ってセルフハンドマッサージを行いました。香りを選ぶ場面では、毎回「わあ、これ好き！」「これは苦手かも」と自然と声があがり、会場が一気に和やかな空気に包まれました。

また、同じ香りでも感じ方は人それぞれという違いを感じることで、今の自分の心や体の状態が香りの好みに表れていることに多くの方が驚かれています。

セルフハンドマッサージでは、

- ・眠くなるほどリラックスした
- ・普段じっくり見ない手を見て、しわの多さに驚いた
- ・手や指も日々頑張ってくれていると感じた
- ・家族にもしてあげたいと思った
- ・香りがやさしく広がり、とても心地よかった
- ・触れていない方の手がさみしく感じた
- ・もっと自分を大切にしようと思えた

といった、心や体の状態を含め様々な気づきの声が聞かれました。

本体験を通して、香りや触れることがもたらす心と体へのやさしい影響を実感していただくことができ、それぞれが自分自身を見つめ、大切に作るきっかけになったのではないかと思います。日常の中でも取

り入れてみたいという声や、家族にしてあげたいという声もあり、日常生活の中で家族とのやさしい時間を育むきっかけにもなると思いました。開催して本当によかったと感じています。

ランチ交流会では、

初対面ではないのではと感じるほど会話が弾み、笑顔や涙、楽しい笑い声もあり、会の中では収まらなかった思いや体験談などをそれぞれのテーブルで共有していました。お帰りの前には連絡先の交換をしている方も多くいらっしゃいました。にじカフェではつながることも活動のテーマとしていますので嬉しく思う光景です。

また、助成金を活用することで、講師への謝礼を適切に支払うことができ、専門性の高い内容の講座を実施することができました。414カードの会においては、2年間講師たちの「会の進め方」「温かい空気の作り方」「伝えたい大切なこと」などを学ぶことができました。今後自立運営していくにあたりとてもありがたい機会をいただけたと実感しています。またスタッフ間でのスキルアップにも繋げることができたと感じています。

さらに、チラシの作成やホームページの整備など広報にも取り組むことができました。

ホームページでは

- ・これまで活動を知らなかった
- ・ホームページに情報が多すぎて見にくかった
- ・ボタンが多く、どこをみたら必要な情報が載っているのかわかりにくかった
- ・説明文が長くて理解が難しかった
- ・同じようなことがあちこち書いてあってわかりにくかった

というご意見がありましたが、トップページをシンプルにすることでわかりやすく情報を届けることができるようになったと感じています。また何度もレクチャーしていただき、現在はスタッフで随時更新できています。自分たちが操作することで、正確でより新鮮な情報をお届けできていると実感しています。

お客様からは

- ・ホームページがとっても見やすくなって情報を得やすくなった
- ・インスタグラムで告知をみて、参加日近くではホームページで確認することができるようになって安心している
- ・表題がわかりやすくなった
- ・いろんなことをしている場所だとはわかっていたが、内容がわかりやすくなったので理解することができた

という感想が届いています。

チラシに関しては、慣れない自分たちで作る膨大な時間を他にあてることができました。また専門家ならではの見やすい色使いやレイアウト・内容表記に多くの方から素敵だから持って帰りたいと手に取っていただくことが多かったです。

これらの結果、にじカフェにいらっしゃるのが初めての参加者とも出会うことができました。ホームページにInstagramへの誘導をわかりやすく配置したことで、Instagramのフォロワー数もかなり増えました。(現在 2300 程度)

チラシのデータは頂きまして、今年開催の 414 会の告知にもInstagramで使用していますし、今後も活用していきたいと思えます。

購入したプロジェクターは、他講座(認知症サポーター養成講座)、主催イベント(蒸留会・ワークショップ・講座)などでも大活躍しています。資料のみですと参加者は下を向いていることが多くなりますが、プロジェクターを使用することで参加者の顔が見え、会を進める上でもとても役に立っていると感じています。

#### 【今後の課題】

「死生観」や「終活」というテーマは関心を持つ方も多い反面、参加に心理的なハードルを感じる方も少なくないとも感じています。そのため、より多くの方に参加していただくためには、「死生観」「終活」という言葉にとらわれず、日常の暮らしや人生を見つめ直す機会として、参加しやすい形での企画や広報の工夫が必要であると感じています。にじカフェでは毎月 1 回夜に開催する「スナックにじ」を昨年 8 月から、各月開催している「ゆるつながり座談会」を今年 1 月から看護師 3 人で主催し、気軽にお話ができる環境をつくる努力を始めました。この 3 人は茅ヶ崎市にある看護学校の地域在宅看護実習のご縁でつながり、個々にも活動していますが横のつながりを持つことでより広く活動できると感じています。

また、今回の事業は単発の講座や対話会であったため、今後は一度参加した方も継続して学びや対話を深めていく仕組みづくりも課題であると感じています。人生の最期について考えることで今大切なものに気がつくというのは、一度の機会で完結するものではなく、時間をかけて自分の思いを整理していくプロセス。そのため、継続的に参加できる場づくりや、より気軽に立ち寄れる対話の機会を増やしていくことが求められると感じています。

さらに、地域の医療・介護・福祉の関係者との連携も今後の重要な課題であると感じています。地域での支援体制とのつながりも大切であり、その橋渡しとなる役割も今後の活動の中で検討していきたいと考えています。

また、市民活動推進委員の皆様からのコメントの中で行政とのつながりも検討した方が良いと思うとアドバイスをいただきました。どのように連携したら良いのか考え悩んでいましたが、3月に開催した認知症サポーター養成講座では、市の高齢福祉課との連携のおかげで、16名参加者のおよそ半分の方がにじカフェ初めてで、尚且つ市の高齢福祉課からのラインで開催を知ったとお電話でのご予約でした。これをヒントに、このような関わりが今後も続けられたら良いと思っています。

エンディングノートについては、存在を知っている人は多いものの、実際に書き進めている人はまだ少ないという現状が見られました。そして、一度書いて終わりではなく、人生の変化に合わせて毎年見直していくことも大切だと考えますが、そのような機会はあまり多くないことが想像できます。そのため、エンディングノートを書くことを一度の講座で終わらせるのではなく、継続して見直したり、書き足したりできるような機会づくりが今後の課題であると感じています。

ホームページに関しては、今後スタッフで随時情報を更新していきます。苦手意識を克服し、わかりやすく情報を整理しながら届けられていると感じていますので、今後も継続していきます。

#### 【今後の展開】

今後は、今回の事業で得られた経験を活かし、414カードを活用した対話会や終活に関する学びの場を継続的に開催していく予定です。特に、カフェという地域に開かれた場の特性を活かし、誰でも気軽に参加できる対話の機会をつくることで、「人生について考えること」が特別なことではなく、日常の延長として自然に行われる文化として育つように貢献していきたいと考えています。

また、世代を問わず参加できる形での企画を増やし、若い世代から高齢者までが共に人生について語り合える場をつくることで、地域の中でのつながりや相互理解を深めることを目指しています。

今年から今宿の600坪の土地でにじ農園を始めました。将来は青空の下、若者も高齢者も、病気があっても、障がいがあっても、車椅子でも、みんなで集える場となるように、広々とした屋外でも人生について気軽に話せる場となるように整えていきたいと思っています。

こうした活動を通して、孤立を防ぎ、人と人が支え合う地域づくりもしていきたいと考えます。

さらに、今後は医療・介護・地域活動などと連携しながら、「人生を最後まで自分らしく生きること」を支える地域の学びの場として活動を広げていくことを目標とし、地域の中で継続的に活動していきたいと考えています。

2026年は年4回414カードの対話会を開催予定。2年間で学んだ講師の方々の進め方を参考に、自分たちなりに工夫して2月に一度開催しました。

助成していただいた会では体験が主でしたので、カードを1枚引、その言葉やイラストについて感じることを話す時間となりましたが、より深く自分を見つめるために3枚カードを選び、それぞれについて感じることを話し、聞く時間を持ちました。自分との対話・他の方の気持ちのシェアを聞く時間をより多く長く持つことで、また違った温かな空気が流れていたと感じています。ランチ代込みで2000円で開催。8名の方と死生観対話の時間を持ちました。これからもにじカフェらしく継続していきます。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1.補助金収入	358,000	346,000	市民活動推進補助制度(返納:12,000円)
2.参加費	60,000	55,000	1,000円×55人(内750円は食材費)
3.団体収入	30,362	31,956	団体負担金
	448,362	432,956	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1.謝金	93,920	80,000	講演費用(交通費込み)20,000円×4回
2.事務用品費	9,386	6,860	オーピーパックT-A4 100枚入×3 2,856円 封筒クラフト角2 100枚入×2 2,926円 コピー用紙500枚入×2 1,078円 ※ランチ容器は購入せず。皿で提供しました
3.チラシ作成費	90,000	90,000	414用・終活用・裏面にじカフェ用の3ページ 両面で作成 各2回分ずつ データ含む(印刷代込み) チラシA4表面 20,000×2 A4裏面 20,000×1 データ引渡し 30,000×1 ※ジェイセンス
4.チラシ印刷費	17,040	0	※印刷代込みで作成して下さったため
5.チラシ郵送費	31,680	51,130	140×29通・180×143通・270×79通 チラシ10枚・オーピーパック・にじカフェちらし ※にじカフェのちらしも同封したため予定より多くかかってしまいました
6.ホームページ修正費	100,000	100,000	トップページ修正 50,000 イベントページ 40,000 レクチャー代 10,000 ※ジェイセンス
7.プロジェクター購入	61,336	64,460	プロジェクター62,073円 USBケーブル 2,387円 ※パソコンが古く、付属のケーブルでは繋 げられなかったためケーブルを購入しまし た。
8.ランチ交流会食材費	45,000	40,506	55人分(18+13+14+10人) 6.26ロピア14,388(米・味噌・調味料含む) 7.24ロピア12,469(調味料含む) 10.24ロピア9,127 11.21ロピア4,522
合計	448,362	432,956	

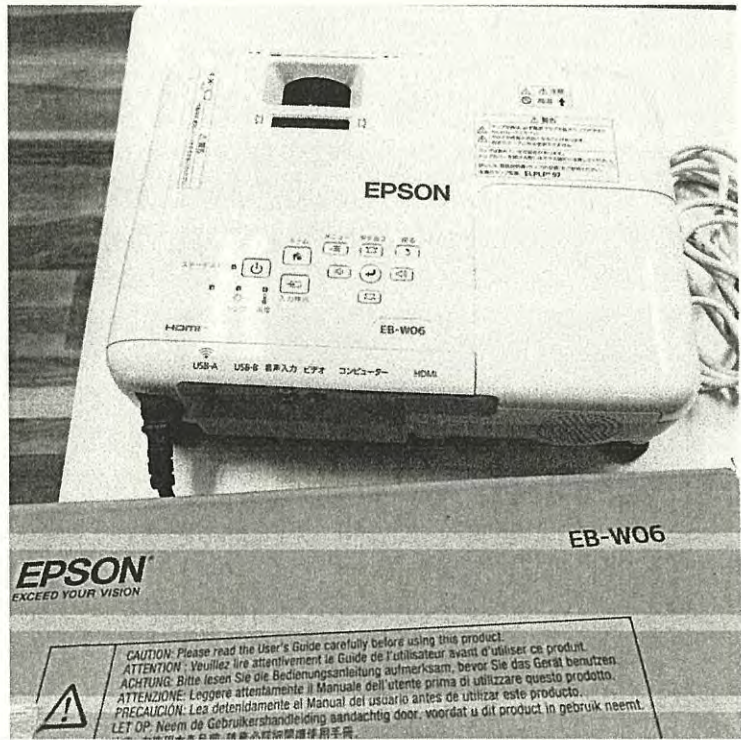
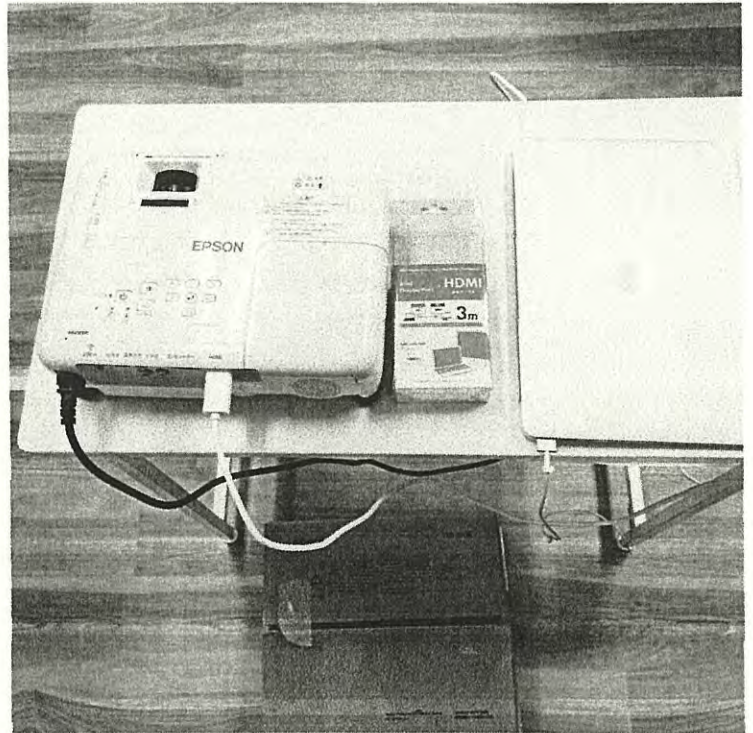
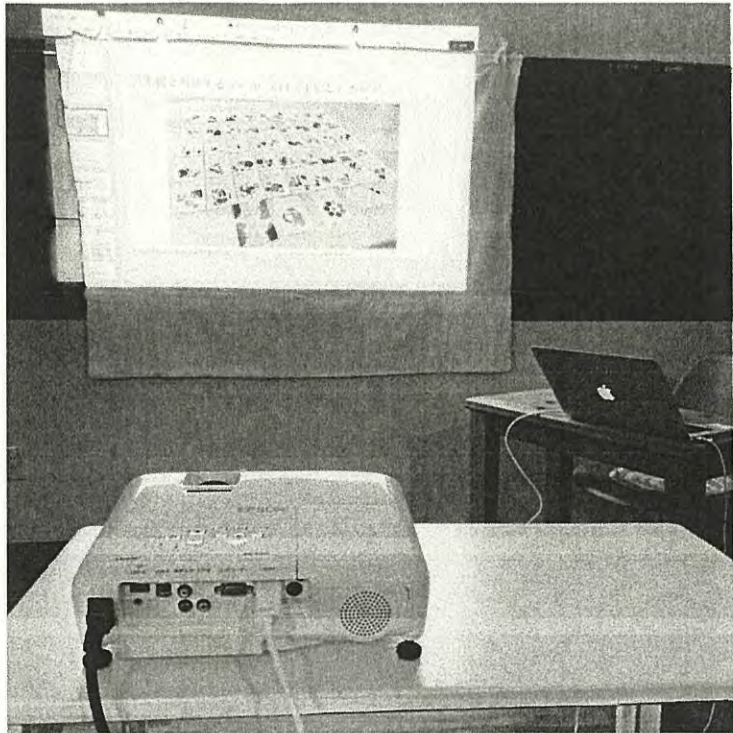
購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	エプソンビジネスプロジェクター EB-W06	2025. 4. 28	62, 073 円
	使用方法		
	講座のプレゼンテーション用		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。

2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。

3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。





あなたが今、大切にしたいものは  
なんですか？

## 「414(よいし)カード」を使った 死生観対話の会 開催

誰にでもおとずれる死は、目をそらすものでもない  
死を見据えて今を生きることで、深く自分や誰かとつながり、  
今を大切に生きることができ  
最期まで自分らしく、大切なものを諦めない  
自分にも大切な人にも、心の中にある想いを伝えていける世の中に

開催日時 2025年10月25日(土) 10時~14時

ご予約 ☎080-8756-5583 参加費 1,000円 (ランチ込)

☎ info@nijicafe.net 公式ライン→

「414カード」とは幸ハウスが作った死生観対話カード

幸ハウスは、病気になるって病人にならない社会をつくることをミッションに親子、さまざまな活動を行っています。その一つが、自分らしい生き方(死に方)を考えるために、日常生活の中で普通に死生観を語り合える文化をつくること。死について話すことは何となくためらわれがちですが、楽しく前向きに、語り合えるために作られたのが414(よいし)カードです。



茅ヶ崎市げんき基金の助成事業です

人生を最後まで **楽しく** 生きる!



つながる笑顔広がる地域、お話会とみんなの居場所



誰でも楽しめるカフェは  
常時営業

ここでは、思いやりとつながりが生まれる、地域の循環型コミュニティカフェ  
どんな立場の人でも、どんな時でも、  
身体にハンデがあっても、心に元気がなくても、  
子どもから高齢者まで、みんなが自然に過ごせる場所  
お互い様の小さな循環で、優しい笑顔の一日を

☎080-8756-5583 ☎ info@nijicafe.net



営業時間  
10~16時  
日・月休み



# 今がもっと大切になる 終活のはなし

参加費  
1,000円  
ランチ付

開催日時  
2025年  
11/22  
(土)  
10:00~14:00



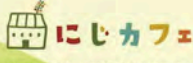
ちょっと先のこと、ちょっと気になること、そんな「終活」のあれこれと一緒に話したり聞いたりしながらゆるやかに考えてみませんか？  
肩の力をぬいて「これからのじぶん」に向き合う時間です

講師プロフィール

終活ナビゲーター北村 ナナ  
医療ライターやライフコーチとしての経験を活かし、人生の最終章で大切になる意思表示や、自分らしい人生を描くためのエンディングノート活用など、多彩なテーマで講座を展開しています。「これからの人生」を前向きに考える終活の勉強会「ふじさわ終活カフェ」を不定期開催中。

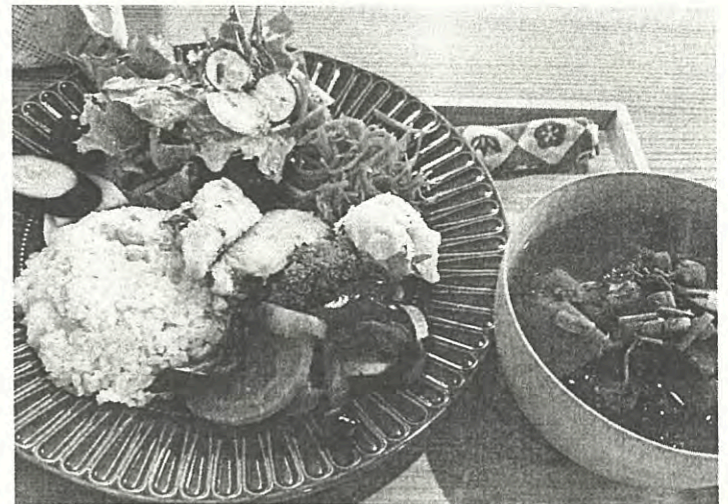
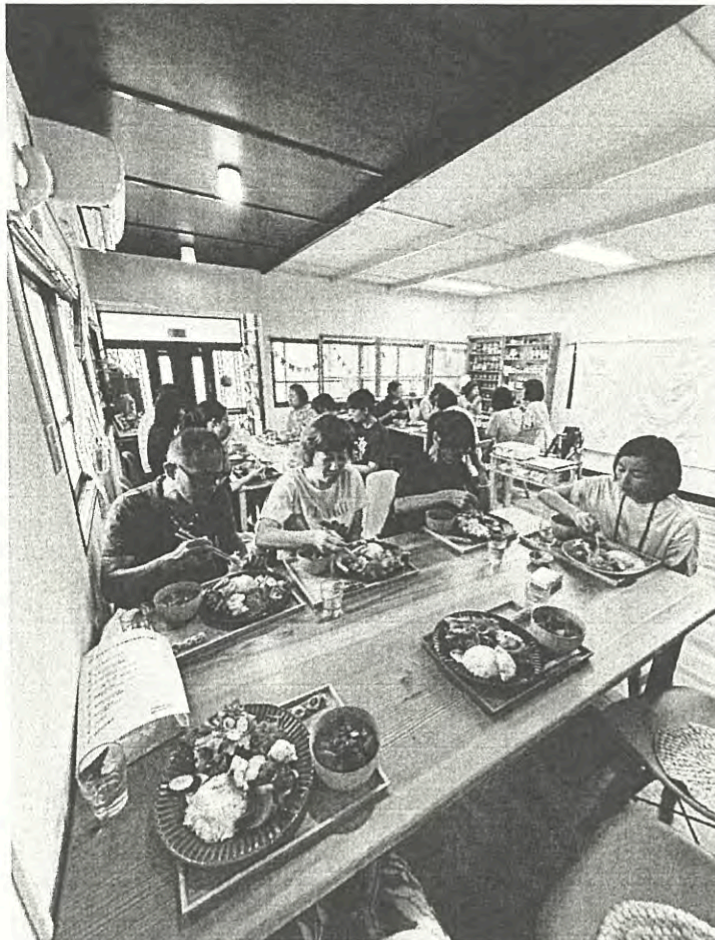
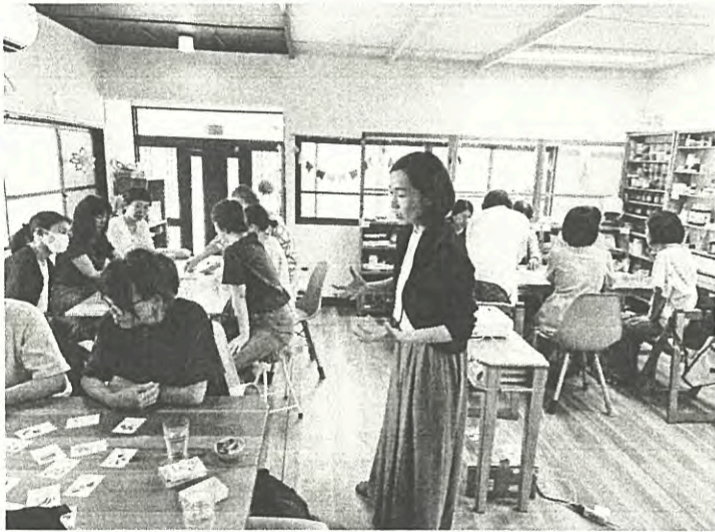


ご予約・問合せ  
☎080-8756-5583  
☎ info@nijicafe.net



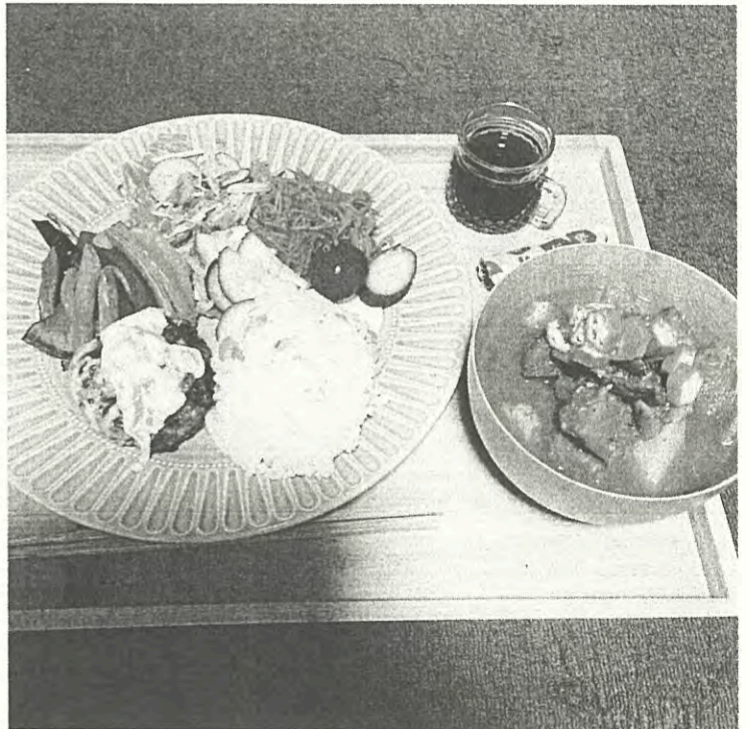
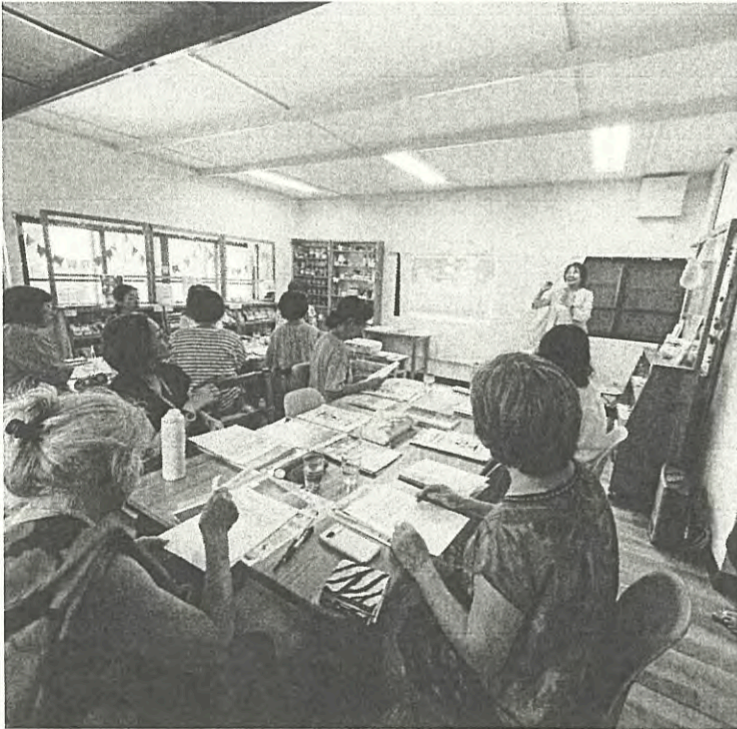
公式ライン 茅ヶ崎市げんき基金の助成事業です

# 6月414会



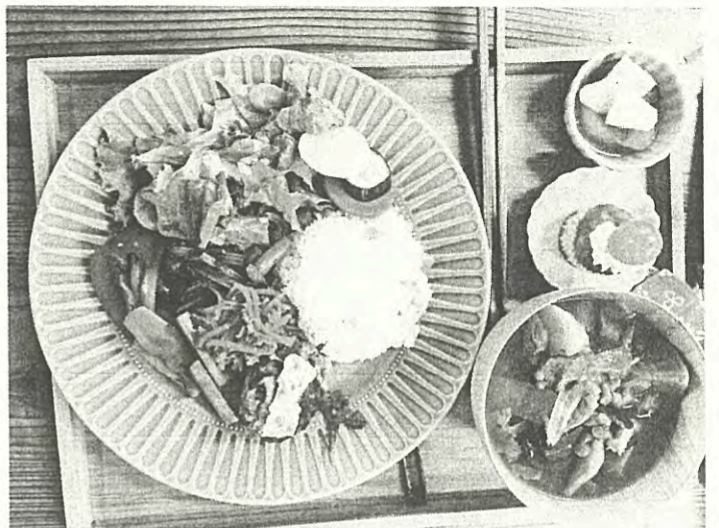
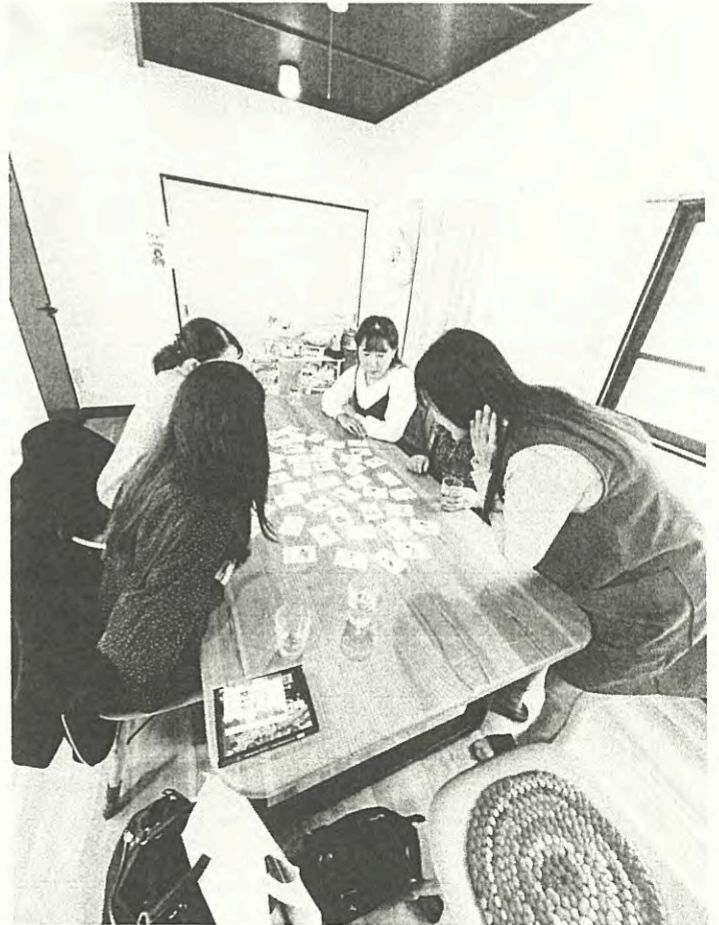
- ・コーンごはん
- ・グリル野菜 なす・パプリカ・さつまいも  
にんじん・ブロッコリー
- ・にんじんしりしり
- ・漬物 大根・きゅうり・トマト
- ・グリーンサラダ レタス・ラディッシュ
- ・ハーブポテトサラダ
- ・ささみの梅大葉はさみ焼き
- ・具だくさん味噌汁

## 7月終活



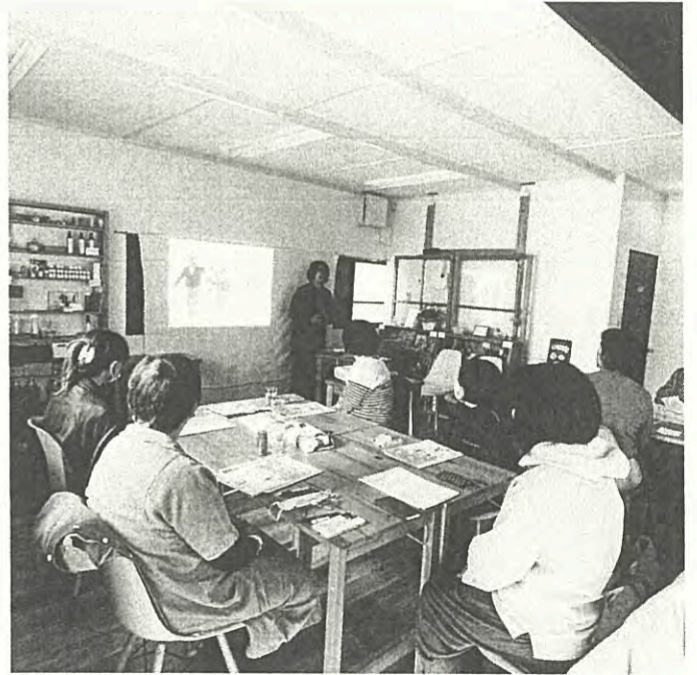
- ・枝豆ごはん
- ・グリル野菜 なす・パプリカ・さつまいも  
かぼちゃ・インゲン
- ・ズッキーニの生姜炒め
- ・漬物 大根・きゅうり・トマト
- ・グリーンサラダ レタス・ラディッシュ・ミズナ
- ・にんじんラペ
- ・ハンバーグのチーズ焼き
- ・具たくさん味噌汁
- ・ハーブゼリー

# 10月414会



- ・コーンごはん
  - ・グリル野菜 パプリカ・さつまいも・かぼちゃ
  - ・青菜の醤油麴炒め
  - ・漬物 大根・きゅうり・にんじん
  - ・グリーンサラダ レタス・ラディッシュ
  - ・にんじんしりしり
  - ・ハンバーグのチーズ焼き
  - ・具たくさん味噌汁
  - ・くだもの
- (カップケーキは前日お祝いののこり)

## 11月終活



- ・生姜ごはん
- ・なすの天ぷら
- ・にんじんしりしり
- ・漬物 大根・きゅうり・カブ
- ・グリーンサラダ レタス・ラディッシュ・ケール
- ・鶏肉のチーズ焼き
- ・柿とかぶのサラダ
- ・具たくさん味噌汁



ひとり一人の元気が  
街全体を元気にし  
街全体の元気が  
また市民ひとり一人に  
まわってくる

# 市民活動げんき 基金

こどもの学習支援や居場所づくり、  
環境美化・保全、捨て犬・猫の保護・譲渡  
文化の伝承etc...

応援して  
ください  
♪

①  
あなたから  
の寄附

②  
市民活動

③  
まちがげんき



茅ヶ崎市では市民活動団体等が実施する、広く市民を対象とした公益性の高い事業に対する支援の財源として寄附金を活用しています。多くの皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

寄附に関する  
お問合せ

寄附方法はホームページもしくは窓口で

☎ 0467-81-7126



茅ヶ崎市くらし安心部  
市民自治推進課  
協働推進担当

<https://www.city.chigasakinagawa.jp/shiminsanka/genki/inde.html>